杉英五郎氏

香港の軍備を擴充

**左
當
り
二
百
萬
ポ
ン
ド
て**

陸、空軍を強化する

複要を召され宇佐美武官長御皓日 天皇陛下には海軍 御通常 卒業武初めの行奉である、この は別設以来また海軍經理學校も

取、次いで名素式出に親臨、佐 約十五分に亘つて御郷心に御粉楽學生具谷脂詩氏の御削齢漢を 長等に腸為、佐々木校長御先掌

要な科学的基礎となり一般學術

殊に水路が設りの原を研火配機

税を以門的網下問題あり

では純年間の製作に従事するま で健康し、毎に至に航空の指針と して完き機能を緩抑し居る現状

同支店の即時退去を命する」に通

秋田氏新黨運動

きのふ安達氏と懇談

ことになり、これが現れの一つと

経済の道院者であり加へて結城

河上氏を抜擢

政民兩黨の打合せで決定

保健上の能量で

食味院から至

各道に社會課

社會事業强化の陣立



軍警が强制追放

は今後個々のきつかけをつくつて 既午後十時散情した、なほ秋田氏

旅館に成局の契紙に騙し急患を交して戦勢を供にしながら極めて難

せられ途史三回に亘り所提説の樹、たが行って革新仏戒部高度行動をの配験的態度を同夜の下航船に乗って各派と順合せ的部合を行ってる

|人に過ぎない情能線したが公安局||独の名の下に宮田議長を伸介とし

經理學校並

たところであつた。 龍嶽 はきまり

動脈痙攣から

脳の血壓の低い人が

かうすれば治る

で観光と記載で発生でする。 かびは大は小を飲めると能感の眠かったが変態を を刺くに十万を肝ゆると能感の眠かったが変態を を刺くに十万を肝ゆる 他症の初めであつて海

身過勢の害等が第一に がある、酒毒、煙草毒 といる程度の治療効果 梅毒、肉食過剩毒、心

動脈を痙攣性收縮せし



けふの閣



(THE EMPHRICAL MENTAL PROPERTY OF THE PROPERT **総総数** 二十七月午後一 上務課長 同上

の好道だ、どうか他の中へ入る事「土浦、塩に酒をやるがよい、」 調が縁動にかしこまつてゐた。 阿護に杯を持つて飲みごしの酒

が飲んだ。胸謎は葬つてゐた。土 水淵へ建つた。 つてゐた。 受してすごすい の中に、三人の こざいますかい 凱吸りを見せ しては異がな なられ。



つけた、心配しないがよい。こ 地はないが、 しば、そうが何 かはから、気を 強かまた来たo れることができ得る。

るから在草樹形は世界を忘れては 歌み引つり、不敢武し趣で略であ」野響がしたり、手足のふしぶしが が悪り、所郷や酢頭に働まされ、暗で、職かとり、のほせ、めまい 何れにしても書は心臓の動揺する

蘇茲たる好評を呼うせる

海草精剛 海質表は一時的間接低下層 海質表は一時的間接低下層 海質表は一時的間接低下層 で 無限を展開されてもしめて変列大乗等を載す面のものて変列大乗等を表する面のもので、元を表面を表面に重じず、中島に対して、青天心を表面がられて、一角で加え、元分の信頼を見て、民用されたい。の信頼を見て、民用されたい。

申込次第代引で直接に

東京市本郷區菊坂町五十二番地 河 合 振音東京四六一

石だぞ、石鎚剛

新聞名記入申込沢第進呈

日本總發賣元



(15)





血壓の低い人と

溢

その時、庭前で火 勢畫 郎 が燃えだした。

回蒙が一方の足端で「熊」で添つて は腰きもせすにそれを見てゐた。 は、他の中へ遊びこまれた。最近 といれてゐた

こつひ、うつかりして たのだか いによくなつ

一合であるからと某

それはからいふ場

ぬ人が近頃多い 突然脳溢血で死

して油斷ができな

に耳のあたり みませんこ

0 A TOWN る、酸の能影が自然だとて安心で きないのは酸の能影が吹くても酸。 の能影が影響に一般、実合からる。 かやうな際に次級生を影響すると、 かからな際にからなった。 野を飾ることに成功したからであ それは後極不可能であった野の邮 從来は耐磨を測定するのに腕の動 影を掘って意味を走めた、所が最

かく戦と来ると非難に収っても安へ心せずに突しても決能がに異常を 歌した環は光が、経知・形成しなく 歌した環は光が、経知・形成しなく ないけない、『気能等が假い人。 ではいけない、『気能等が假い人。」 さぬ時に脳溢血、中風せしめ更に不聞生を麼 る時は全く動脈を硬化 め更に之を等限に附す

交通野科な要を選択した所による となって活性會から現 殿が無いによるといよ。 などのないにはいいのでは、かられてしまふのでといいが、これに非常的ない。 かられてしまふのでといいが、がいいが、かられてしまふので

存者に對しても脳の盗 身きかねお氣の毒な生 豫後の中風ちらきの半 有効のみでなく脳溢血 海貴來は以上の疾病に

み、回復に向はしむる 血部に吸收と排泄を管 ※に服用をお奨めするのであるから迷はず氣



度和利尿、胃のコリ関析。中でのカリ関析のでは、腹神経衰弱症、神経痛、症がと不厭症、神経痛、 貴

血壓亢進症、中風動壓硬化症、腦径血 個 密は百九十二蘇人二四 四十八蘇人六四、千二百蘇人 四十八蘇人六四、千二百蘇人 一四、二十四百蘇人二十四

で飾りまはした あた。林吾は、隣

主効

れだぞ、

っさと辿りやが

鐵泥の哀號

ぬき足さし足

(武庭德定) 非岭县一、讲田仓、和田朝建、桑亚仁、河东岭二 山田亭、山田亭、晚晚、平—山本山利、西瓜一夫、盆田牧建、坂忠思、江口孝之、盆田惟雄、金泉地、 非等距面页。 好名第一条 大家记载一个 数词 大多 现金 大人 医复杂大人 化苯大人 化二苯二人 医氯氏

は織泥壁が横行してゐるが

あつたが、この捏給質の決裁を得

が方を推議中で

榮えある合格者

原田米一、三孙圭男、選保交占 四中总元夫、山崎銀行、李 大、田中总元夫、山崎銀行、李 大、田中总元夫、山崎銀行、李 仁銀、江戸太門、阿は沼田一、

に際語をもつて突入し、竹

つれも自動をものともせず

日午後六時ごろ京省城大和劉

島足で迎さ郷土風の南年を配路一五日夜十一時ごろ韶路十字路を一

てゐるが襟に機崩。を財取選走中と判断した 「釈されたこの男は張眉町1三〇駅| 高線上横貫の代取から解験十五貫。を本郷の東大門等域に観点され観覚を行び達に機能。浩三(全世域)二(で共戦の上、前の身體検査をはじめてゐるこころ

偽刑事最中

この問題を、関節に徴不自由を終じてゐる眼院である、関かれた各直原影響を翻っても、取締内規が、たいため、観劇院自覚を翻り、先數本解で、る前の如きは、

た朝鮮自動車取締集別に車機封を「施にこれが全鮮的取締の館底を期職し、一昨年から将令で實施され」そこで本府整務局では自動車事故

する行戦國分の統一を主旨とした

躍魔白に鮮北

猛吹雪に惱む北鮮線

八列車としてリレー式に特致した、尚北鮮線一帯は廿六日正午に至るも尚吹雪が猛蔵を日午後、曜十五分常被着後の羅波線急行第五〇八列眼は廿五日午後五時四十分清戦者の領五〇五列帆を臨時急行第五〇八列眼は廿五日午後五時四十分清戦者の領五〇五列帆を臨時急行第五〇かたの戦戦総定報行第五〇八急行列戦は流騰到時に戦者した清戦総権撤亡第十一列戦を代期して振迟し候譲まで劉縯し、夏に廿六がたの戦機能定第十一列戦を代期して振迟し候譲まで劉縯し、夏に廿六 振ひ目下の所何時終熄するか分らず從つて埋沒列軍の復舊の見込も不明である 上をうづめた大吹雲溜に突入埋沒し列車は遂に運轉不能となったが幸に報答には異常なくこれ なほ役師一項に密度以下で例年よ

め気夜から列山の運輸社施した 咸北乘合不通箇所

| 祭局に達した報告によると定期完合自動車不通循所は清凍、蘇非凱、雄善、西水福訓、慶識、蘭| 祭局に達した報告によると定期完合自動車不通循所は清凍、蘇非凱、雄善、西水福訓、慶識、蘭

車事政防止に 分を全鮮統 輪禍續出から警務局が乘出す

■るため不定期臨修急行第一一○ 備へ急行『のぞみ』の輸送技和を

進制では単独単地原告の激化に ら臨時急行 一十七日か

要十五分、同一時十五分母 県

優良運轉手の過失は寬大

即戦事故郷生に対し、行歌處分「内郷を予道に通知することになつ、戦である例れていてのなが、「する行戦處分の統一を主旨とした」成して、職動族の部がに努める方のに対している。 理解のある行物を分を

前十一時級測所登録常は足気な

機能を減る景は緑の原音・前路服 前を通り扱けようとして扱き足差 | 医院構内食量コック朱成伝費 こ

來月三日慈城署員に功勞章

足の指、持つた荷物の重みでパッ が調べると、京城市堂町三八宋旭 タリ倒れた二人連れの男を同所段

は東大門署の遊電部以だ。と朱樹面中、躍然か立上り々君は誰か俺 が死角町七七鉄道店裏上西方で飲

晶豪の次男坊

盗みも盗んだオーバ五十着

飲み代稼ぎの犯行判明す

こい二百天氣は射。 衛行面の が激増したくめ主張列。液塩を売くことになった心米であるが全静時。 輸送版 増加と保。過上事のため、と、密里なる消膜を纏してダイヤの

極力定時着後を期す

不審に担心 取測べると一般職場所に荒してゐるオース尾網 著版科二級の権用を押されて昨春。整成が

晴

療劑

送

競馬を前に

第シーズンも迫つて早くも馬丁

前の国時急行は往復とも運輸な 七一家田住氏から廿回、京城陛开 から類付石の使ひだと語し新説町

門署政にあばかれた。京城新潟町「鎌山され廿六日朝税録されたが磐手の名を利用する恩事が東大一階取してゐた事實が東大門署域に 村おの友人間を沈き題り、金品を一後二時から山下数判長、近隣接到 明的并是氏から十五國をはじめ魏|城地方法院最後の公判は針六日后 罪の元書記に判決

マヨネーズ

吾子と共に夫の恨みを晴した

妻女に三年の求刑

御家庭の ハイキングに

所状的ようというでは、年後一時機事は総告の後後出途に

で行と様で殿り殺したものであり、飲ませた県知自分の子供と二人祭さりと襲と子は金に散々酒を

樂シイー 京日コドモ會

春かあとぼりをして廿五日も生態



語も、見物の坊ちやん聞もや

天氣豫報(甘山

が流れています。 昭 北東の風 弱ったり 扱ったり 晴

國軍官院監 英 德也領下前總指導

新軍軍隊總監 牧田 太陽下 實 婚 野 縣 博 七 吉姆斯 學元生推 看

一語を的効果に就て

發 置 元 丸 響 鷹 店 大阪市東區遺售町 (指替大阪 865)

翻原代理店 驫 層 陶 店 東京日本部區本町 (個體度於22884)

くところかか 豫約募集!

ジャズの名曲楽が変した美しい演奏した美しい

回 8 第 回 2 鹺 夢甘 夢見 林 見る頃とサップアイン・ナ リー・オン・ザ・リッツの 木 藤 ての 木 藤 での 木 藤 での

コンカルグ ラ即

電學研集 (宣传) 新館數 (新館數 (新館) (新館) (新館) (新館) (新館) (新館) (新館) 停京記809 衛九段817 優秀治游 世代 五日分成円 直を記れ

MURAKI **M** 店計時木村 社會式株

一十七 日より 人助民作 日迄

(五階ギャラリー) 观京

四時ホール

+

黃市 其 日南久 新町

徐行箇所の修理と取扱迅速化

る劇場から聞宅、自宅の対験で受さん(ま)は甘五日夜十一時

○大學、進級御祝三、經本營、京城等的理》 「宋本三三四、王五四(宋月) 「宋本三四、王五四(宋月) 新型豐富大特賣

御好部プル幣信捌特ノ製品〇一個子卒業マデ 特製ランド 京城貫護簿記

也儿

羅旋2よ 写正楽相次について西 ・ ※を奏することは不合理である ・ 他の世代、作業師との他を一個子 ― 李楽豪変演員 | 質地診察に當り鮮 ・ 作業師 その他を一個子 ― 李楽豪変演員 | 質地診察に當り鮮 「ルルチッを呼 みき べる番声」 一般にに入り

長閑な議場に朗風景を展開

七日目の仁川府會

買つて龍型既に騒然となったのを 承る」と答べたため凝煌の情況を 西郷土木郡接航路に『参考として は府訓機段條例に就き質問するや

院統督に當つて朝鮮人患者の待遇し、

| 楽通り承職に決し問三時候施五分

歳入の第一讀會は

に推されついで委録長にも何が敢 なった、年齢により大石能は最大 一時すでに衝撃に報告することに

全部つた後水道特別部間要な「詳細客派し、松陽旅域より」 明が不徹底のため座び毎陰原派は「五分開館」を田志域長級事」於ける底大道智記込敷量について「所の活用で田中唐院熊務郷長の凱灯空宮域委成館は廿五日午後 水量と所内工場の需要量と今後に「の舩回を熱害したが、看謝婚養政財空宮域委成館は廿五日午後

山本府事の説明があつて誤解成立

を遊戯するや共鳴する朝鮮人経住しの投票時間に符合せることの水き

★犯案性権は、英地使用料は高す ▲水井府尹 京城に比べても決しない

◆金聚性維良 根本的に修正する ◆宋在鵬蔣良 四易額道補助をうける影はないが、筆については多 漁の理由如何、属費補助をうけめる民をもつてあるので懇談官 る考へはないか

ところ、この男は竹川郡竹川面生 作展が建か選起連行して取過べた

と望ふので土地の時間をそのまと遠ふので土地の時間をそのま

その他大した質問なく強人臨時で相談しやう

中古自物明を図却せんとする男を

に肌若一枚の異様な姿で一般の

【不選】 廿四日早期十一時頃府內

清州農業校

五紀書自郷中店へこの寒

目轉車失敬

後から随り聞けてるる。除では甘

責任回避はならぬ

預かり品の紛失で損害賠償

一番でも負け

地院附近で懐中から五十銭銀貨

ド明太聖語所は西部公告校と共に

「前州」既報、忠北道豊事調繁基「前州」既報、忠北道豊事調繁基

地鎮祭執行

製式を開催した

ととなつたがこれで成階のロー

楼縮み上る 24主任もこの漢つたれ小泥

類似宗教の没落

長、安東道龍外官民有力香四十餘

並利率、告阅內桥部長、小倉試廳

十五日午後二時頃から同般地で

日醒めた教徒續々と脱教

普天教遂に壊滅

りし部く能みかけた公園の概のとのたいます。この気後の観さの私に急ビッチで訪れつした 等下四度資金の窓さであった温暖等となり廿五日午前十時の報温は |歴山||群山地方では廿四日夕刻か 2北西の風吹き跡り夜に入つて雨

が前年の各宗教版監信者数と現在の動向に多大の観心をもつてゐる

□○○(四、七七五)差別□□五 | 大三の(四、七七五)差別□□五 | 十一年度 | 投資計較支貨加度正 | 大三年度 |

型、死故不明で所能が歴書で取割水池に罷死壁となつてゐるのを謎

出かけたが同日午後四時頃豊田

の歩いんは十六日正午街草苅りに

【水河】弘啟那三升面兀南里至氏

草刈りの若

ペ中

時から同意通常製館を開き十二年。「定平」郡豊館では廿一日午前十

定平郡農會總會

カミソリの辺で捕縄を断つて逃走

教者数は左の通り(括弧

【原州】郡墨蘭第十一回撰纂總面

は在目すべき現象としてこの民族 事實上認識の状態で、道品で誌で

冬の逆戻り

見えて『将来中間署に一番多く手 制造の一人だっとおほごぼし数をかけるべきもつとも有力な飲

の盗を働いたことも自自したが、

巡察中の平地製造が展見識可する

|を驚かしたがこの時ならぬ大当に| 【海津】廿四日朝來降り積つた雪 清津は積雪

の『記象融書所々である飛行場で一巻通は相當の支際を来した、清散

【平撰】 秀吉の首をねらつた大猫 | され日毎に除を増してゐた農作物 銀貨十九圓鷺摑み 司法主任の折紙附

は正年には十六センチも確り人々一照し普選すべし」との脅迫文が類 底長半質版に對し『同胞のためで 所の對於長月縣十三道部を住態・

台第一軍司令部各級で職數医社在 四日も上まではいではあるが利五 多服を送れ 匪賊の脅迫文

所へ然的せよ、哲し背けば京法に

込み日前国際は定日成一版の所名とみなし厳重調和中

ため機関士の見返しがきかたかつールド朋人機が到着したので語もため機関士の見返しがきかたかつールド朋人機が到着したので語も 代書記を相手取つて右撤撃語。由から大端匿報法統臣事部に五八氏から赤ជ機振壽柴田子。与睥睨の蹇弥がたいといよ理・いては東王の江脱道党透達法。に蹇め知らしてゐなかつたかはうまり。

同二時から各種の品計算要質状態 「原州」去るサー、二州日公立書 面書記試驗合格者

逃げた怪漢

|怪しみ本地に連行中、京町東本願 が建築装成(元)での流八代を自白||通りかくつた福里宏敞北信批事が 単高山面昌内里五七七黒腕削科| 夏店に洋飯を入質に來たのを抓住。起し淤酔の末郷がした。右は完併、六時二十分筋市内豆町一四六宮川一家町で篠町誕出所の白鳳巡査が建 大時二十分総市内京町一四六宮川 家町で藤町運出所の白属総査が鑑って選起した怪誕は二十四日午後 日午後等時半路梁町一丁目遊人選 き即で阿ポケットにかくした安全してゐるが認定後は際の構内使所 連行途中捕縄を断一は非溢召集を行って 曳倉中二十 翌日格闘の上捕縛 一者の終別山がブー、『アッ失敗へ 古民りの段

大泥棒と判明し

の恰好が選ぶのでピックリしてい がしたが一向合點が行かず 肌れたまではよかつたが、明石に 小屋の漫像な歌を、

お母さん 心身共に爽快となり 痛は止まり頭の疲れはなほり更 お子さん方は喜び勇んで通學さ 頭の薬チンノ 共々に春の歡喜に浸つ お子さんも

頭痛にはチン のめばすぐなほる ○連續服用するも副作用な 本前國際 **殿** 門二新井 洋樂樂 藥 行房房 历

するものしみで参興地の旅散な意 説する考へである。 であり、また國庫補助は今年申 かにされたので着物を買よべく同 入賦時部は無属世に終了、後部 ある中古日戦略を失敬したものと

特別国計量算を一緒に可決して

三港の滯貨

建造の職長を定めるため水井府政間なく通過、保健しその間全戦を

是を聴取する態度で一個千里に質

府立病院を槍つ玉に

共鳴議員總攻墼

結局特別會計豫算は原案通り承認

緊張の釜山府全員委員會

め積取船の入港少く北壁三港は大一た鎚、府原も七日間になればのび。 ・一年以来物様く、一方船腹側壁のた一ヶ何んのため?々といつたけせん

かも認場のどこかに和やかな意思からどんのやらなものである。し

施下する特権大豆は膨最の通り新

ムの風景、解氏服をくるノーさせ

「元山」佐伯、雄基、元山間無治

水飯電通行で、廿三日元山底に着。途についた

缺勤の事務員に疑ひかっる 材木會社の奇怪事

憩を売げ、巻建館は二十七日午後 幣門十九枚四百九十四五十四五回 精通した者の郡行とにらみ寮日前が認つてゐる。源紋経部の第一署 調べてみると勧めてあった十回紙 間に行はれたもので内部の採制に の宣電電話第一枚、五百圃の電報がら病気と務して総動中の東芥は 阿部かに筋取されてゐるのを趣思。感替第三枚合龍三千三百九十圓が 調べてみると納めてあつた十圓紙。間に行はれたもので内部の事情に 理食中である 香陽面西北里菜("た)の所在を上記 二日午後七時から同八時頃までの

入學の凱歌

全手植、金属编、奥姆姆、金涵全手植、金属编、奥姆姆、金属、安大、阿三提、用瓜鱼、烟尘红、烟烟烟、朴香油、金鱼烟、水黄、金莲烟、柳蓝、烟尘美、金莲烟、柳蓝、柳三菜、金莲烟、柳莲、柳香、木黄

定為故、財直王、宋尚棣、孫語 ・ 本申述、仲輔順、下忠洪、 ・ 本申述、仲輔順、下忠洪、 ・ 本申述、仲輔順、下忠洪、 ・ 本申述、仲輔順、下忠洪、 ・ 本申述、作城等、吳平洙、 海、李貞塚、金茂原、吳平洙、 海、李貞塚、金茂原、吳平洙、 海、李貞塚、金茂田、八本郎、 本中順、金雄順、仲志西、 は、本田、 ・ 本田、 ・ 本田 ・ 本田、 ・ 本田 本田 ・ 本田 本田 ・ 本田

棟居專賣局長

近少南、林金珠、南京台、 と、金龍子、本土祚、徐漢、 と世奏、文養雅、朴恵富、 杯質藤姓と宮見・西京県意大田分 と世典、文養雅、朴恵富、 杯質藤姓と宮見・西京県意大田分 の無徳と宮見・西京県 の東京、田村町 の東京、本土祚、徐漢 「一覧のでは、 道聴を訪問の後事製局大田田亞斯午後二時五十六份看列事で大田署 を戦災し安東所長から管内状況を

お母さんは 可愛想で更に頭を使はれまお子さん方の惱むのを見て 勉强しなくてはいけない 從つて小さな頭を非常に惱



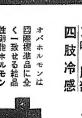
増加せしむ。 関ひて分泌量を 中途にて乳汁量 乳汁分泌不足せ 又授乳當初より 進せしむ。 **る場合並に投乳** の健康を保護増



全州高女校

愛現せしむるほ 性特有の機能を

か卵巣機能を活



製剤にして、 性卵胞ホルモン

いづれ奈貞豊に入つ から追補助は殆ど人件費となっ。五族皇間で無域成食をなしてはだっくり相談したい。 本水井崎野 幽時部がなくなった。たちはす約。時間期初内勝島里三 たがはず約一時間前所内船無里

進級生は める 初めての學科で頭をいた

お子さんの

0)

新らしい

學科が増えて

益々

総例(百単位) が後(1年だ) 10.地(1年で) (田百單位) 10.地(1年で) 10.世(1年で) 10.世(

頭痛にチンノー

のみますミニ三分間でキ、メ

に脳に禁

共に頭痛に疲れ切ります

((|気|||千草位) 10元((|類(0) ||)|||||||(())|||(())|||(())|||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())||(())|





大 健誠就田 曼 兵 衛 商店 法 數本 中 東 文 市 日 末 島 選 本 町 方 町 東 文 市 市 店 東 文 市 市 店 店 東 文 市 日 末 島 登 東 市 日 末 島 宮 木 町 市 店

87_197(0)

製

翻束代理店 造 元

加多武田 鐙

愛品

である、土壌ははよれました。 の関係、井戸町(吹ん止め、泉を のので、土口七円の安 のから、土壌はは、土口七円の安 のから、土壌はは、土口七円の安

我が有田ドラツグの試験はいど、自然観測の場合的は一名の記さらが、有効は関係の記念としていませらが、有効は関係の記念と自然観光の記念と

* うぶ

0)

から

花王后統

日二円の安物から、高い上音品日二円の安物から、高い上音品

肺結核が輕快。食が進み熱も下つて (埼 玉)

中越竹三郎

な。結果は郊外にも脱結集でしたのでなんたることだと、気も八度七八分より 九度二三十二年、突然心域を受けました。突然心域を見、それより緩緩ニー治ら軍と思うてゐました。突然心域を見、それより緩緩ニーとして入分より、とれより緩緩ニートをいるというには、大きないのでなんだることだと、気をしている。

解熱症を含んであないのに、これに関する。 「一臓の腹側で計算されてありますが、 「配欄のかもと、は悪婦人の一般が言れて出りますが、 「配欄のかもと、は悪婦女人の一 音風の質(環等現象) トン〇〇番) 「一様の人、 「一様の人、 「一様の人、 「一様人、 の 一日 一番風の質(環等現象) トン〇〇番) 「一様の人、 「一様人、 の 一日 一番風の質(環等現象) トン〇〇番) 「一様の人、 「一様人、 の 一種人、 の 一日 一番 「一様人、 の 一種人、 の 一種人、 の 一種人 の 一種 できるのであります。

回 一個に要と云っても変型と同じ 一個でもの無数がある。 一個でもの無数がある。 一個でもの無数がある。 一個では多でかけ、真然に対する。 一個では多の所以は、所述に対する。 一位でものである。

で新しい病魔を作る場合に特に多精技の起り始めや、或びは別言し 結節性の肺結核

節性の肺結核といふのは、

微

では、一致いのはと呼ばより、この歌は、発音の理解に活力を指向名のは、であった人生でが、、奥へて、新陳部代の歌歌を組みた。というないとなった人生でが、奥へて、新陳部代の歌歌を組みた。 この歌は、発音の細胞に活力を持てくるが、ととかのとますから祝い。 との歌は、発音の細胞に活力を持てくるが、というないとなった。 というない アルコードン等を含むする さんしょう はいります。

マインをはなことがありますから、というというできました。 というできるかいとのります。 というとは、一般では、一般では、一般では、一般では、一点のでは、

★下熱劑によらない自然下熱法

また 薬師 薬 1月日日にからか の文中でのからか

トゲンによる方法が、最も確別 この問題は、一度結核に職つて が『来きすが、しかし、一般となり、これ人の見様を導っしてみれ

(化變の羅病肺)

肺炎性の結核

|日ドラツグ
| 質問のでは、
はないのでは、
はなず

關約款 別 特 士八四 五 円円円

全世界活所でお買取了とい 質性期につき、他の一般来店 には販売しておませんから

結核に名を必断する過行には、 たどんに過程を証で音楽に続くも一覧、結戯はどうして起り、ま

ー バ荷の形をして困り、肺炎性 像でみますと、海の花文はクローを所に限定した小さた終節を 化性の各病型について

しざ日の春いかいたあ 給核發病から治療まで 硬型病物の 即炎性、結節性、經過を示す三ツの

することが出来るかと会びさ 増離することが出来るかと会びさ ではどうしたらこの結婚組織を

戦闘電音に組入の的語に密はす | 中心を発って見て、米前語の都名

結核治療の要諦

一般などはこの形態を写着技ではまる」できます。 之はとりもなほごす結

一 清天記者は 衆良とすべきか

い使用感 を何卒よく御 煉製法による比類のな もちがする 王の誇る
これ等の特長 王はは 標準の純粋さと 個十銭です 総計下さい 溶け師れず

%四·九九度粹純 錢十個一價正

版大·會商瀨長社會式株鹼石王花·京東

は先程もどなたかと即つたやら せんのちやないか、大物の時に

る、これは少しむづかしいが、

は盆ひません、小波がたつて水

氏西中

面白いと聞いてをりますがどう ばかり三貫か四五日あげたこと 狙ぶんです、いつでしたが大物

適度

▲折レな ▲水切り3

亍

元 質 發 造 製 店 商 內 木 配 目丁三町納加區目前市月 市 三十八八版大巫中福 帝二十二合新和

主催京

城

♦日時

もありました、小物では悲劇も

い八九寸のものを三十枚くらる

せん、風を待つてウキがピンコ

れてた」以のでリールでを試用

篠崎 畓.

獲物と餌 次は運動と餌の關係につい

でも少しの努力で

はりさらだつたららず

性特の化文本日

翠段

生の健康を

に角せめて試験を受けるだけ

お前は俺の異意を抑解して

のには私として一つのおへが

「何?後投所の打台七に…

行進

『俺は、本人の将来を思へば 人れるところではない

谷

傩

でれに今里はに限ると伝え

きことに中部側がいませんが それにあなたの列が窓にそむ

諦め切れませんので… 敗也の中學校学院に就さま て相談して参りました。 としましては、どうしても

て、堪らない風情で足を早め

世はもら涙ぐんで、父に組るの 放也は俺にとつて、一人の枠 『たい直すのはお前のことだ どうぞあの子の場め 様の人かっことだって 八直して下さい

御心配をかけたやうですが ハイ調配品はまことに移い

イヌ等の混合鏡なのであり、各機族、蒙古族、ツングース、アイ、日本民族はマレイ、インド

作服と和服の二丁生活

長竿で小伽をあげても面白くあ 気持ち私は同じだと思ふ、元も 面白さが切れて大物に轄中して

人物と小

どちら

が興深

6 加

見に寄つてある、よつほど同国

あそこでは小物は此でもあかり

で飾り申しあげる機のことは何

私などまだ極く目が強く

てあと今日まで休みには降つて 熱心にもので正月の元日を除い も照つても飲かさず出かけると

少くていくと思ふんですが、原係計あげる方が提高する時間が についてはなく落人でウド

何でも釣

れる

ツト

本テグ

スに優る

ですが皆なかり

てては修言でする、それよりか

大伽を敷切く釣つ

ますが大物は凪のときは空より

既ですが、あ そこは小切る

☆耶にあると一口にいへると思人が同一血族の民族でないとい

出をしました。ですからやつば 兵の部屋では、井んが昨年の 小切でも四、五寸の 五人のすす

門なものですから

◇場所学廿七日夕刊及公常日録にて砂渋◇・弯曹 京日鮒釣競技會 來る廿八日 午前七時十分京城驛樂合・ こなせないんです、野釣りが

安

あつては世間の手前 家ほどのものが、一人の弊に 『何枚無数』のでせらり 不付氏は感覚に弱った設備で

先到家内が出まして 大勝利迷惑を掛けましたさら

のメトロ超上作「大地」は恋々和 **育及ひロサンゼルスの東西南都市**

ボウル・ムニ、ルイズ・レイナ・

パウル・パックの名語の映晶化

米紙の

大地

に封切られたが同機器についてモ

禁。画酿新 ロトメ 隊撃爆の曉

お花見道中 名のおどり書 機能く関かる は 中級テステー 地方であるデーカテー 地方ではテンプラ 世級千年子 解ひごころ登画 ・飾り易い振附がついてるます

(1枚1円)

は一年中で一番皮膚が活々と

学養が・・・・

若肌を作る!



こ十五号セット

代時器石

そのお河夜に集る観戦や知

では、お得ちして思ります、 した。私こそどうも失極しま

(日本のいラギオ

思なる考へだが、實際である。

大時 大時 大時 大時 大時 大時 大時 大時 大時 八時 大時 八時 八時

浦貫一氏ぎ) 非常時局と人物

此原因は凡て便越によるものなり云々」 にも不拘、腹髄に出血を起し居るもの質に九十七-七%の多多を見る。 「病理學教室に於て、死體を解剖護物の結果等で顕強血を起したる歴史。 ・ 一 東 先 生 日 (にクリマグ(クリーム・マグネシフの略称)(権ミルク・マグネシアは小生己に四年前其上本の専門醫家が認めて以て最優秀なりこと (長生法領申込茨第進皇) 全國各築店ニアリ

が、大製薬研究に

π 造 製鑑 症應適

があるやうに」と弦 かれるのだらうかといふやうな

の附を開き、新聞へ載つた自分と

つた時『死んでも命 んか、投具自殺を題

しても、その記事は鑑が置くのだ

ル_(60巻)

性の强い姿変クリームですから

一晩の中にお肌はグンと美しく

いのです。お肌の生命力である 節にマツサージするだけで宜し にウテナコールドクリームで節 た荣養を興へて下さい。就接前 水を無へるやうにお肌にも充分 美しく若返る季節です。草花に

有効脂肪分を閉窩に含んだ渗透

店商吉政保久 錦本 料酢化ナテウ

・厚化粧下に・ハッサージに 御洗顔料に ・お肌の桑養に

中記機工が批別で東に声間を、 を動いておれて変更を含める。 に変数をママ・片間さん、皮 に変数をママ・片間さん、皮 をはウテナ化財品の能量







美容相談」 新設

んなにか御滿悦でせう!

へやうもないほど快適です。そのうへ輕い離ひパン特有のスッキリとした爽やかな飲む地は例パン特有のスッキリとした。 に疲れる消えて伸びやかな覚ぎが得られます

ボンパンは林檎シャンパンです

林檎シャン

◆シャンパンは古来 目出た

御一

いときの祝酒としても質用

あさはしいものです かさはしいものです 無がさいて はお親ひの刺進物などにも 鄭寒曾をなさるとき 或ひ されて居ります 御家庭で 喜ばれる御晩酌

(可配物便郵留三第)

あなたの

御健康の爲に!

をあなたのお館につくつて行きます! 紫巻素を保有する優れた滋精酒です 張い底力祭巻素を保有する優れた滋精酒です 張い底力 も風邪も万病の附込むスキです そのスキをつせん 渡れますな 風邪なぞ召しますな 疲れー一家の主婦のおしますな 疲れ くらぬ要心にこの良質葡萄酒― 赤玉ポートワ



も適するから重要です

すてきな

ためにも関るよい といふ 慰安飲料 清凉飲んでおいしく また爽やかで 而もおからだの 前に 食後に 三時に 誰でも 料 健康飲料 等を銀ねたすてきな新飲料です せひ御常備置き下さい か、喉のお濁きになつたときとか、或びは食御家庭で、お忙しいあととか、お退屈なときできます。 このもおからだのも いつでも 飲 お退屈なとき



●トリス葡萄汁は 成熟した 新鮮な葡萄の針を極めて 他的に 扱って造ったもので を 一般に なる 一般に 大き 一般に 一般に 大き 一般

●これは 世界一流の茶園ー 世界一流の茶の図 です 色も味も香りも至く の沃地で育とて造つた紅茶

お子様の

おやつに! ことなった。ことでは、これでは、これであてお子様のお好きなもの。それが理想でれてあてお子様のお好きなもの。それが理想でれてあてお子様のお好きなもの。それが理想でれてあてお子様のお好きなもの。それが理想で 血色をよくする等の効果を有し、而も天然の程とれば純粋な林檎汁で、骨骼を養ひ、また肉附やれば純粋な林檎汁で、骨骼を養ひ、また肉です。 をしてゐるからです。 お子様のお好きな味よい甘味と酸味があつて。お子様のお好きな味 おやつとしては お子様のからだによく



市品 ◆コーリンは新鮮な林樹三十 王四分を一親に吹めた濃い 林樹州ですから 召上ると きは お口に合ふやう水文 は濾・平野水等で五六倍に お演め下さい さうすると 質においしく また一報が サイダー瓶に約五六本分の 烫慢

绮

茶紅

いだ和やかな氣分を醸しだすのです! おおり いたれやかな氣分を醸しだすのでは、よく、うち気があい快い風味で、その一杯は、よく、うち気があいたい。 それにものが一等でせう。してみるとトリス紅茶は

して和氣あい~~たる氣分を腹すもの かうし続の時の飲物は御家族御一緒で戴けるもの そ

御來客の時の飲物は主客共に戴けるもの

申分ない良品で しかも舶 も甚だお徳です せんから御家庭經濟の上に 來品のやらに高價でありま

六州、共方は何と思ふぞ 平内はきつと六難に目をつけて

ふものだ…

六州を除いた

質素でなくては安心は果ませんの 闘を一度またがないと狭心しまし

かりました (脳) 母の

たもの」、斯んな病気になつては

(略)何んな事があつても生家の

思はぬ妊娠

思ったやつを飛んだ目にあへばあだ。復観を食べて温かに度ようと

(北端の脳らぬことを云つたもの 道墨を出たのが、かれこれ四ッ半

早川六畑は始終何んにも云はず にこしくとたい気ひを含んで

『はい、私の考へは即りながらは一番は一人もない。假にも武術を修

日も早く全代して母を安心させ様

と図者に通ひましたが費用の事で

第音祭を見てゐても泣ける程で一

『何ら違ふのちゃ。兄弟同様に親

させるのである。

私のおへを申上げませる。

写真面を云はつしやい。それやア

へたのはあれ程の下腹の部みが壁

敬へて聞いたワセトン

と聞きましたので断師から

場を使って

(略)内服器で効目の見える容篋で 作家とは近り合ひがつかず中止し 腰をはつた。

他の連中、そろ

然し師匠の言葉であつて見れば

概ではなく、小が

母の氣苦勞

に泣けました

我学中合せて陥り向はい、 職能と来ては話し方がござ

これが人間ならどんな意思 れは取りませんが、何分

党をとつた日には、それこそ好い

と返罪はしたものと、

利れ催みを取るには高数な局所研えても、掲示の復興、数数や腫れ

つまり、流れ出たり、べたついて

戦(無くて流れ出でベタづいて爆

ねるのは置い過ですが、低級な単

内服薬が坐薬が

は能観ましでせる。併し何んと云れ輝くなる構なもの)を使ふより

「ヘえー」

れたすく、あわてふためいて逃げ

と、返す合類もなく閉口してし

『よう云ふた。如何にもその通り

六頭、共方これから参つて 武術の本意は共屈ぢやつて

及ひませれるちつ

ていや、流石は六頭である。 月經の度に能む、下版や屋が解

病芯が曲者 なする、

即心配は明れません。一時陥に徹めります。それを取らない事には 畑れたり 解み脈で聞師へ飛んで行! 父庭ぐ縮みこしけが下りる位で置 こしけを吸び取る手法では いのですが、即て内部が 藤原で 一下大病院ではち セトン

榮

菱. 經

濟

名云共二日本一

靈

許特賣專

ン班と云ひ、金属

る難は出来れと云ふ國語が進してる 内股の引の痛み等)腫れ爛れのと が催発に研究の末、これ以上よい 京三五〇一九)でもる皆でも間

「輸入限で手書をなされたかそれ

のです。だが貴女方は今迄どん

腰カーから要まり

| 気分が輝くなる神經上の効果と云|| 中間線|| 両間間氏 私は進んで奬める

士の『女性の

田

風い情報等とは空間の相違で気禄よく治療が出来るのは一番よい。風い情報等とは空間の相違で気禄よく治療が出来るのは一番よい。 低級な気を使って容易を作める事はない。ワセトン糖はずつと全の殴る方は問題だから仕方はないが、質を思言さへ確りしてゐれば

頭がガンガンいたい…

トン球に御籍市上げます こしけ が

もはつきり

(解)心の底からす

冷えが治つて

内服祭をのみ優盟を入れ間当をし した標で天にも昇る飛びで創出い む観冷之間の私が、手足さへぬく もる場かどうでら蛇艇の選みを建 部略)一月一月には腰のどが痛

が買続されこれなら太鼓物ですよ ませんのは最が残らず中へ遊み込 き使つて驚きました、今日で十日 つてゐましたのに小包を聞いて驚 になりまずが今迄こんなに良いと 離ら別述います、質は単類と云

らねものと諦めた頃は本弦に楽し **ら即座いました(略)坦人の驟標** てもその時だけで、これは対威治

を見るともら堪きりかねだか、や もまだジークと我慢をして野りま 升戸的紙の音が開えるうちは、 したが、飢だらけな男女が出たの その尾越野は、青い光物や 化物屋敷 とあるからには、向よへ舞つてこ 本語かと住じますい 人民の任居を妨げて密をなすもの 段の仰しやつた脈形水板の妖怪も (成る銀等展卵光も……) H

思ひあまった病氣でも

たった五分で頭人で解決 それが自然ないのは病 すから、今省の卸心配は吹き飛ん かりが娘をする様な影響です。 出来標と云ふ、耳寄で見のがし出 信用ある薬店で扱い 別病院使用の坐薬 もとの美しい女性に限る事が 、處女でも安心して明へ、正し使用は確認で人に知れず出来す ヴィダミンADの應用













品粧化のこ

動動動物粉粉粉段般粉粉ンド

水磨子チ まプラク 第アラク はアラク 問問

こ、肌の酸脈を堵進するクラブホルモンのした。クラブはき白粉をお用ひになります「化粧アレ」「白粉ャク」の憂ひがなくなりま E.

競毛ビタミンと A合ホルモンを配合 くせのない鐵毛を設育す **毛奘の再生を促す發毛がイタミンに頭皮膜**

上映時間登

2,40 7,10

3,50 8,15

4, [5 9,37

11,00 2.30

三月二十五日より

京日世界ニユース

京日世ポーユーへ 11,00 情 炎 娘 ご 、 ろ 11,10 朝日世界ニュース 12,15 大坂 夏 の ^神 段 吉 第 禁 男 の 家 12,37

三月二十二日より七日間上級 大毎國際ニュース 11.40 3,10 6,50 RKO日本版 雲林裸道中 11,50 3,20 7,00

保保 冷溫 工事請負 材料販賣 京東

膝保溫工場 西田 張鮮 题所

補血强壯剤來多古 **産生促進劑** 純粋膵臓ホルモン 素産生を迅速に促進し略血本劑は結核菌に對する抗罐 監汗を制し利尿

止血作用

調塩大トデヒサフヤハ人島 開結弾 街 風 旋

央中 器器



し下虫

照代 改革 記代 改革

1.00 .76 千大

经空 雄門官 17-11年日より五日間 (大学) 17-11年日より五日間 (大学) 17-11年日より五日間 (大学) 17-11年日 (大学) 1

(3)日适曰:吉曰:吉曰:吉曰:吉曰(3) 13 15 E

祭みの歌座治 4,15 9,37 POT POT 明 **企** 座 日 朝

≥ ≥ 座 金 黄 聯 → ≥ ≥ 世野到 キゲカワ

大田田より七日間

非工作



兩局會議で解決

金聯は旣設倉庫を

啞監の名で通牒

開發の先驅者として新事業界に再發足

安川總裁抱負を語る

●産七で九にッケ、参考嗣(甲)
又は、〇)の如く連ぶのも、一季
後とされる
○白十六は所謂予所、禁一七、十
白 九を誘って二十までのノビの形を
右 構成しようとする常用の細さでも、
か 参考嗣(四)の供移を連るのも、
無領には排斥出来ない

の で 明 か に 音 南 山 杉

大 丸

Ξ 79 五 六 **0**00 七 八 九 t ± Ξ 盐 랔 玄 夫 右

画-•

評解 篠原正美 000000000 北右玄玄土九七五三一

● 一 かえ6 ○ 二 による 1 ○ 0 と は 1 ○ 1 に 5 ○ 2 に 1 ○ 1 に 5 ○ 2 に 5 ○ 2 に 5 ○ 3 ○ 3 に 5 ○ 3

さんできる そうな 2 できる さんできる そうな 2 できる

E E E E E E E E

班

1126666666

獅子文六著

高岡德太郎舞艪

定價一圓

遺物・隨筆集 新鮮な 客内

カミ傑作集人生サーカス。清智に部

獅子文六作

公

幾多の特色を有する全學徒必備の群費の有機性と特別整本習のみが終め得る

並製

製 特價三圖五〇錢

劃期的業績

強艦、器體

特製舞特價四圓五〇錢

〇八〇頁

堅牢製本 凾入

學界絕讚

0

助教授佐藤通次著

讀み味ふた

めの解書 見本

野口洪基編 西語**不規則動詞逆**月瞬

德足俊彦編集 **有佛 口数 西岸的** 图本级

定價二聲八〇錢

丸山順太郎編 白

水社

佛

辭

間七三 布 完 発質利

標音佛

分二十三級分五十四級型 分二十三級分五十四級型 東方三・革盛皮羊朱紅質 **発〇八国**一榜

山本直文編纂

製造田島清福

し発に簡散及露面の豊富な事に使ては斬然抜群の定距ある智典・権威士大家の共編に或る種簡弊最高の構成整要、凡ゆる必須の條件

数本線皮羊・近常別本山 錢〇八圓七福

佐佐本信

田

72

巌

茂

植井村田田屋馬田子樽原

語數豊富にして近代的特色を完備せる最新佛和・八五〇節頁

特價三圓

與謝野晶

田

Ŋ

Ě

佐藤通男編

ソウェ

略語評

典

定假一國五十級 特耳一國三〇母

專門十大家共編

尿社露和大 東亞經濟調査局編纂 提 供 送目 呈錄

田醇京東 下盛河波

自

水

世界世

よく熟練缤蝣され文質は漫職、主な勘詢には女荘上の要件を用示してある歌頭に比類なき最大の紫和鮮典にして、凡ゆる顕微を翻羅…響題で易服明 被 監 岩澤 丙 吉編纂

分二寸 類分五寸四級型 集色方三 · 製華龍皮羊 錢〇八圓一個

標音露和

短歌の擴がりを示したことは曾つてない。 我社はこの空前の盛 人として「歌ごころ」を有たざるはない。しかし、現下のやうな、 於て萬葉を凌ぐ一大歌集の出現た。 この國民的大事業を完成す 觀を呈するに至つた短歌の傑作を一大集成するために、茲に新萬 る爲全日本國民の總でが擧つて應募されむことを切望してやま 民的最大闘心事だ。その内容は明治、大正、昭和三朝の知名歌人 業集刊行を勘行するに決した。蓋し未曾有の歴史的大計畫で國 むる秀歌はこれを同列に網羅し盡さんと欲す。 は勿論、全然催名歌人の作に至るまで、 短歌は建國の常初より一貫した。 我國風であり、 荷も藝術的の價値を認 國人の誰

一首の作品と雖も千載に價値を問ふ 萬葉集を凌ぐ新時代の國民的大撰集

四軍少兵大佐 李宗 四軍省新聞班長

過古世年間の誤れる對

▼物故者の秀歌を縁故者よー投稿を歡迎します▲

田水

山第二

法人登記公告

一切の偏見と

経りゆく市民生活

大運河建設の際に 夜音の話に女中韓向

不軍ところどころ

政法改正の意識

資本の本能的憎惡

も動かず

慰学自出張庇 就学賞希に日登記

商業登記公告

あるが優のロシアを 電傷的意図も潜まぬ も働かず

あるが儘に語る

職業・慰愛・結婚

経際健康の渦心

大學生の左領思想

武綱の徒らなる敵慨心赤色恐怖も見えぬ

切符傾度の貨相

急が物営は血塵湯 ポテル緊胝 先で願く者を 五ヶ年計畫の由家

シアはどう動く?

氏名には必ず振慢經歷等二十字語に

宣す。その際も規定は全部 友等の手にて應募されむこ 來の物故者の作品をも募る

法人登記公告 隱水原支廳

南

組骸を顕みて

新しき野技工作

攻勢に出づ無単線

月月月月十十十二七二十

商業登記公告 驅旌善出張

◇原稿は開始によるべし。
「日改造社内」新萬葉集編輯局」宛
「日改造社内」新萬葉集編輯局」宛
に送らるべし。

(第一巻刊行の後定)

商業登記公告

鍋鹽罐州支ы

装幀其他 豪華版ポイント部 採録歌數一萬首乃至一萬五千首

果京市芝區新橋七丁目

實業に就く人の稲好の指針

が 赤板 圏

京警五

五及

私 學窓を出づる人、 Ø

行触れる数率主義の中から、増えず明日的なもの、新能なものを提へて非 要化し大成する密管が歐米觀察配を兼ねて語る茶るべき社會の理べ相 營 他 章

9

である

二十三版、正味明 第 英 入 第 英 入

新刊

光の面と間の面数本家の岩ない個 點を本書に求むべきだ

職者の元侯爵夫人 下宿娘の歌響 現地に見る巡闘政治 治め難い農民 貼ろしき窓志の力器 字 登 武士は敗はねど 類裁政治の機密等 関連登級の基礎は ロシアのスパイ網

> 谷口輝春先生 忽大版 選輯工圖 著共

古田初太郎 吉田初太郎 吉田初太郎 吉田初太郎 育田三 一貫齋談語集 石橋一貫齊 花原俊三

光り

E 並 N 世 5

文生腹い農世界のちを水水のちを水水水の大きに変のなりを変がった。 花・倶感 野野 一との一頭 村莊 間仁 騰原 めて一番農業 定 八 椳 輯特大三春陽 する法 語家 ★ 光」に就いて

樞に坐りたる著者が豊富なる

鼠験談に盛る憂國の文字

來るべき我政治も經濟

も外交も軍略も其出發

紡績女工 旅中

氏の

のロシア通非常時陸軍の必要 くした陸軍魔一、日本切って ロシア、及ロシア人を究めつ 入り出てゝは高官使臣と交り

により召還されて、其情報中

と其の世界史的意義を推定 **罗奎寫**真集 文化の没 可義 宗

書卸し一千枚軍務設忙

後の動向と

ロシア建設の雄姿と今 の大眼に映じたる隣邦 露認識を一新し、 經国

交り、或はユダヤ人の家庭に 在露前後十億年、或は驚員と 傍漸く八ケ月にして成

等先推查 等生生 呈進本見容內

答日清紡績にて 高新型年を迎へて 小の新型年を迎へて 小の新型年を迎へて 小の神思観

谷門口:

附帶決議を附

加豫算案を可決

ける本質議に上程

健保案を委員附託

衆議院豫算總會(計

保健所法案(政府提出张慧院)

ガカロの質問に止め今後の質問 が が改正すべきものであるから、 が改正すべきものであるから、 がないにすべきものであるから、

に造改体弱と進増康健 を根本いい味美をりませら で大富國

援河岸道在動を前す任不府道整線(八等)

社技師 こずい 湖

稅免除委員會 木材屑等輸入 案通り採決 兩日中に原

朝鮮マッチ工業の

統制方を要望

高屋説明 英米本代情地酸解消費日の米大使と佐藤外相

でて動議成立、

に決し同六時五



改正案を上程

の所見如何 たらぬと思ふが政府 杉山 原相 管理制と規定とのはははは地上の大きなが戦府 杉山 原相 管理制と規定となるが、大道的に何びたい。 深議院本 會議 六日

貴族院本會議

宮脇長古氏 成名一

速に質現の見込

朝鮮關係で議會提出のものは

ねばならない

七年前と比較にならぬ發展!

工夫したいと思うこめる (内断大陸地域機能・行任と影が機能を表するので、場 氏の領域機のためす人目年の経 (大田・石) (大田)

金に食器技から管師あり帰相室證

經督 成南限察

昨日の京城府會

々最適あり、二日前に置り 草葉附を開いた。 三川県京家に関しては、空民南流内に配って配地県京家に関しては、空民南流内に配って、東本文社特置) 朝鮮林学園 郷館 小に刷す

全部通過の大成功

たつた、資本に三井、三梁、住坂の外王

議會後實現か

現地側は强硬に反對

肥瀬の脂投き・

早くお求め下さい。全国の書店に全部綴つて養つてゐます。とこても大評判・飛がやうな大寝行・・ 品切れにならめ中

ク 本と開山電

その際には選

見重太郎

法文化子でと、却つて法の証用
圏野法相 年の機密の内容を 「田川電池」 明年度 - 総語語報報 の形質に大幅離離報道 二十三百典 に、 部には八月のは就数度が分類に 四の世帯語せばを介すこと に、 第六分科師は廿七月年前十世 日、将来之を光例とたさでること に、 第六分科師は廿七月年前十世 日、将来之を光例とたさでること に、 第六分科師は廿七月年前十世 日、将来之を光例とたさでること に、 第六分科師は廿七月年前十世 日、将来之を光例とたさでること が、 こことになった、焼って砂砂砂ゴ 節の様の様とはで、 でした。 放いて行はれてゐるので、本門は 決定したこのも午後一時半から限しの政府に於て十分寄外すべきが W語館を囲き、林委は長の手許で 田京用語 伊爾明け級所版頭等 た明年度制度算の主要可源た 愈よ廿九日成立 ける貴院で可決 「東京流出 日本マッチ江京報行 任明郎公立高等曹温秀校放金 (1年7十一月次 20 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 11 元 2 電力 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 11 元 2 電力 前来 20 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 前来 2 元 高等曹温秀校放金 11 元 2 電力 11 元 **運製行化に反對である以上、到明傷庁の方針については、不動** 引傷庁の方針については、不動 が知きは沿革上困難なる質情に一来たもので、鮮銀に選択する

◆小村菜三氏 質剛曾長)同上(質剛曾長)同上((京明旧語前)

入ると我れと思 はん緒は常山い 登山シーズンに

くが点数年振り



が総正は一時間キッチリで往復間半型かいつて形だくだつたの 鍵とを兼ねてこんは何んとも云へねなつて朝の大京城 サ振つて登襲 ▲初めは一時

入學進級のお祝 ゼヒお與へ下さ

んな素晴しいのが十四朋揃ひました! **岛大會**稚 邊 宫 年 · 漫生 本 若 寶 章

大院随意 職員 電話本島2元四六元器(県開) 大院随意 職員 電荷士 今 村 豊 八 住墓は可姓年度 一時道に側車込みを願ひます で見 電荷士 今 村 豊 八 朝鮮巡查||紫紫紫紫紫紫 可愛いお子様の 教育界の權威者が暴って御推奨の 學校の成績が 講談社の給本 理想的が開発する場合は、 メキメキよぐなる ●家中がトテモ明るくなります。
●女子で元素な子供になります。 産鶏 一健康 / 本健性疾患は安米食を費見することが に位って必然的に快活し、健康者は之に 位って不老長輩の原泉を費見することが のって不老長輩の原泉を費見することが ンテ向で油石 名古屋市商區大事新町二ノー七 電路 富一面 會 營 業 **胃悶、脚気、骨臓、心臓、血腫亢進症に立** を續けてお興へになると プンランリソガ 集幕店约特 鷄 含業所 ら商田柴館 **阿羅大阪中! 国内大 日本二二年の名を開発 日本三二年の名を開発 夏 和黑町水街區東市原古名 社會名合山松 福河河

Wm士(域大教授)日本W

東上中サ六日で、四の海軍総科の流

及, 果上中世

問題布三ノ六七六四十分京域解出と四十分京域解出と本大佐の家族は廿年

3

世 100 五0k 100 五0k 100 五0k 100 五0k

時に、サービスの後に無学の表る の哲楽成都向上の過程を限機する

H

書

の提到を兼ねて一個の議話を軽へ

直彦

ことを感じる。この經費方針はあ

的經營法は異常の波の如何を間は はあるまいか。楽説と施設の跛行

十九日は午前中村銀龍岩の窓内

と問ひかけたものである。それは

なく、原業に於て一層考ふべきで ながも民番に限られたるものでは

設の最当に何つて進むとを配置と

際聞してのことだらうと思った、 多分、東京漫の口書思なき程説を 鮮の役人は炭張りはしませんかし

と期待して出まねものである。

遊くべきで一般大衆はむしろ随

路を確定是正することに新むべき

午餐館に 列席した、主人側は 配鎖クラブに辿り、肥野島が塵長の触りのアに辿り、肥野島が塵長の

私が『イヤルしも成張りませんよ れを通牒したが、営を何を翻訳』 て保護中の推薦者 行と合するこれが『イヤルしも成張りませんよ れを通牒したが、営を何を翻訳』 元彦八郎で出述し、ハルビンに於 私が『イヤルしも成張りませんよ れを通牒したが、営を何を翻訳』 義とある、そこで私は、宰自派れ

野油にて出げを述べ、 村風肌石こ

一流とある、そこで私は。 学日遅れ 見ると、明日は、朝新京越午後へ

低に在る生きた機能を視察しよう

楽して、その代りに福州國哺育の た路である、北湖現然の計道を贈

宿に縋ると、何となく減分が患と決心したのである。

はと原洲土産の包とする、内容は

ルピン者、その翌日は同地にて休

らな、思野氏にも含ひたいと思つ 國分中佐と北天前には曾はわばた する健定をも順念した、是非とも

るの自由ならざるのゆゑを以て頓があつた、崔麟郡は、日本郡を損

イ彩画、斑響は、大に得るところ

出、簡単移民に職する心理を述べ

ルピンに向け出記することになっ つた、宿に触って日建設を謝べて てゐる。何らしたものかと一寸迷

を申置いて引取つたが、さてその

の祭り、諦めて宿に融つた、爺め「物泥し過ぎたことを悔いたが、後

私は『午後』といる時間に、除り

ついでに佐藤君の後を追ふて北行

「然らば明日重ねてお訪ねする記録」

ार्थिक स्थापना महिल्लामा स्थापना स्थापन

明日である、既行日弧は、明朝ハ

であり馬子のよつで来る町以に遡 即ちまずの裏面に経営施設上の統

る、飛客に向つてのサービス販客」での原地もあるものへ如く思はれ、時代の如きも大局酸からは十分脱電

思はれた、耐も道楽の都辺を迎らしは、役人張りが実織されてゐます」とを深ました。醫道、私は、昨日更の首願者の願を揃へられたかに「ましよ、とばかり『朝鮮のお役人」られたるものではないであらうこ

とを派集した。闘途、私は、昨日

一年、「野を襲へして軍部分部に行く」ので、、持つて見ると、三十七度三一に目指したる聖許島労遜長は不 た、関もなく被選挙が関けられた

分、こんな徴點にしては複分が誤ので、計つて見ると 三十七度三

勝 務聽長、荒井崎県局長三氏の話題 に行かないので、近天尉、配野邸 に行かないので、近天尉、配野邸

つた、夕食も自営に運ばせてせい る過ぎるやらで、それが深にから

> との問答を受唆することにする。 と、何大連に於て、松岡南郷器故

> > 説男咨询皇 師賣 元

承諾を得て置いたので値討合部第

途中正午のサイレンを囲いたが、

が、こちらのお役人は、既分野人

として、これには少々面喰ったが「義が、歌にスローガンとして脱げ」せ、二三の響人に驚起したが、第一いと重賞なものを探合され込めて「密る景像と潔潔から五族屋和の旨」 二十月團、私は単を顕然院に駅

一張る領観と熱思から五族協和の言

二十月四、私は単を顕然院に慰

地がし、極温器を取容せるやうボ

|での六日間、多方面の人々に會つ

日から廿七日、新京を迎去するま 標準の前別開遊である、私はこの りたい、否これまでの記述を、

ひ出しては追立てられるやうな心

い、前日もこんなであつた、

ーイに製むで置いてベッドに上つ て語を聞くことに日を過したが、

して既へられる新期保田湾の引上 | 揺戯消長其他國務院の所謂自然試別すべきである。能近のヒツトと「大長、荒井参議府の書局長、霧重

つて利益の別元方法の親りなきを一町氏はじめ、各巻版、大精外交部

軽して何うです」と来た、機器と

優して何うです」と来た、提習と「演述された、私は名参議の面上にへると『それでは密州の豊人と比「紫巻城は、五族協利の本質に就て

とに肚を含めた。

¢

質も相當量を要するものと考ふべ

多ヴァルコホルのまはつた頭、大 態度は、臓に臨しいものであつた

るにも似たる主人側の打器けたる

|暴衣長が、私に向つて「何うです男||突の機に、時刻の怒つのを忘れた||誤談に出版された。多分本日は同||今じがた出麗けられた||とのこと||小し精人最ることにした。||をヴァルコホルのすはつた郷、大 | やつた、先づこんた息、喪差と潔| わたが、層氏式不在『砂层艦線の || 我不在『今日も鄜巌があつてッイ | つた、夕食も自器に壓ばせ寒咳は、誠に溺しいものであつた | の像をとざめてをられずすね』と ||三鵬に呉分中佐、出大財南氏を訪|| [権はず第三鵬に刺を通す、延宵氏 | る過ぎるやらで、それが足感だは、誠に溺しいものであつた | の像をとざめてをられずすね』と ||三鵬に呉分中佐、出大財南氏を訪|| [権はず第三鵬に刺を通す、延宵氏 | る過ぎるやらで、それが足感だけ、誠に溺しいものであつた | の像をとざめてをられずすね』と ||三鵬に呉分中佐、出大財南氏を訪|

と全面的より見たる内部の施設元

きではなからうかっ

優秀。ハイプの破裂も

技師の惡奸策

満鐵製客車破損の例もあり

の光明のためにも征々其の業績が 鹿を期待して已すないものである と黒字は楽器であるか、將交恥等 の犠牲のあることを思ふ時、果し 所以を省み馬字の際に潜む歌多 しかしながらこの思字の生する

いが、黒字の因の大半を擔つてる る報客、代主の立場上り見るとき の褶束に就て他動版の脳散はもと必要とせざるを群ない。既は態子 郷地しても断酷しなく腹気もなく 難く、限る生学の形好を懸する はあながも楽器ある黒字とは言れ より局員自身の大同酸結と熱心に **お脳であることは疑ふべくもな** あるかについて再機計すべきを ないだらうか。超過域の外

の上からは耐火以められつくある 客の接踵の窓にその最たるものが とは言へ、大衆疾害として職道サー出に示唆を興ふるところ多い、實 スの戦害を急格とする職が多々あ とを遺憾とする。さらに施設 施設の不充分より来るサービ 似た感じを抱く大楽等を ふる過は今後ます

至つて或は費用すべからざる無字 の意を懸じ群ないものである。 あるに至っては黒字の裏に罪あり 黒字と設備改善の不前行の難に

於て我國に於ける成功したる私鑑が、果してさうでありらか。茲に 命するとの理由も生するであらら

「ピスの中心繁であるべき、三零 例に使ってそのご、三の點を翻た。 「無字と謎解嘘ぎの不責行の繁に たって或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とうて或は襲卵すべからざる點字 とって或は襲卵すべからざる點字 とって成は襲卵すべからざる點字 とって成は襲卵すべからざる點字 とった低ると性友の調管ペイプと乗人技師 の種分生氏・15天は単に関して とった機合と住ところ間段 のべイブを軽くしたところ間段 のべイブを軽くしたところ間段 のべイブを軽くしたところ間段 のべイブを軽くしたところ間段 のべイブを軽くしたところ間段 のべイブと乗人技師

能が北支

振はむとする我國の重工業型品権

◆總督府、京龍道及京

を守れ 漢江舊橋脚

へはは左の明由で富分 へはは左の明由で富分 本語を思ひます。 「関語版教語道し歴 関連常時曾認の施設 関連常時曾認の施設 関連の表述を表する析的 は正確な言うる析的

は悪い理由があるの

間の交通量は益々近き将来に於て京

言ふら、漢正は隅舟及妣行に不便だ

と信じます、御野原を

「阿護師じ

蒙り弱い。 一日破壊 と療薬は特に傷煙を 上交通の死命を制す

出来上つて居るもの出来上つて居るもの出来上つて居るもの

かけて何れも複製せしめ頭品を 不信に導き、英製品を購入せし めやうとしたものなることが明 4 になった、北安と云はす支事 に続くさると歌米遊品は何れも

字五十・迎顧高快の望希や慎公 合電無隔傾編・内以行五十四結 原もるな意識は名間上紙・短係 とこの記明名氏所出は「稿 が、どうしても残してつて戦壊される由ですつて戦壊される由ですへ、源江の落橋

に軽人さると歌来遊話は何れもに軽人さると歌来遊話は何れもは長は高いが復秀品が多い。故に支那を出ての度だとなる。 まの、歌来記に変めざるものをを出する必要があり、殊に支那を担する必要があり、殊に支那を担ける必要があり、殊に支那を担ける必要があり、ないでは、

如き可能性があるから此の點重 つて住友のバイブ試験を終すが 歴末人題間、技術家が定くは入

製品の輸出業は耐意する心

かと疑ばれるばかりとなった。れが技術の優秀を訪る副歌副品 何に世因するかと云へに

當業者は戒心を要する

が支那に輸入されて居るの の対支那同輸出は最良なる を選ぶ

ー、検出先さが支那であるからで があるにしても邦島整出来者は り、悪い繋だけが耳には入る傾向

◆國用化學科 · 安利豪、金宗樹、 ◆國用化學科 · 安利豪、金宗樹、 類原、雅榮寶、安寶九、孫尤若守 章相權、賴其至5 雄、青木二郎、松尾久司、田邊, 万四卷二郎、行德幸夫、鈴木和 勝田駿、骨山秀樹、小坂光遊、

本博、久保養明、非承崗器夫、趙昌錫、并本

医逆は横膝を極め背敷除末は愈とた。しかも満頭の政治は紊乱し、 裁だしく産業は転はれ、田地はぶ 行られるといふ状態であった 母の辛勞を憶ふ お助は敬滋ある人間となつて音家、及び眩暈中で、同時に無水漁精製の場合をもつて疑はぬことは、であるが且下同世では工器の増築 家名を落されやらに常に心がけて を展置してくれ、懸命に努力して

造の起水路を新設し無水池精約五

回島合浜品藍出民

中正は幼にして性難範、何らの また出母が孤別であるためずる。 そもすれば擬斥されたものである。年次第に長ずるに及んで語る。 そ立てよ出場と加張が成場したの 中正が九歳の時から二十五歳まで であれば、二十六歳以後 いた、しかも中正、二十六歳以後 は一命生活をつまけたがために は一命生活をつまけたがために ないを立て。唯一の資は、一つ資」を ない言語は自量力能めて帰っ で、然し言語は自量力能めて帰っ く、形象の可述を立て唯一の資」と く、形象の正なを中正に自ら述っ たこともある 門が繋へれば繋へる健志なは難く さかとして保たざる解釈を記念すした、否単子の往昔におけるきふ ひ、語体は交常に大楽報園を以て であること、中正は恋を革命に整 る、別が自強より他に路はないの の組るところはたと是れ自信であ もかなければならない、孤園弱少 た『家生はいよー〉困難となつて くれ」と、父或る時はからも云つ 木、大鮮、 C川瀬日、 平城野縣・池 米(三十十日)六七五〇卷大豆九四、三〇三石移出白米三〇〇队白四、三〇二石移出白米三〇〇队白一、九六七队到 世帯の各工事もこれと同様の設備 は新式焼酎工場の無水工場進出の千石を図過ずるに決定した、これ

夕刊後の市況

川磯物出入

▲題名

下痢便で

困る人は、先づ

概を観賞者、信酬観賞に比較するする一途を辿つて展記五が年の業

五十歳を迎って王

て「王

酸道牧人は削業以来の記録を重新

于島俣派を代表するものの一、

黑字の検討

蔣介石述懷

說

を示し、しかも五年前の比率に對の一五〇に對し質に一八四の高率

於て五千七百十四萬餘回を即げ、 異常の収入成績を見せ十一年度に ときは産業路線の籽敷に比例して

人比率は鑑賞省の一一三、台湾

氏石介蔣

は現在はどこへゆく?これ現在の世界的た名詞と たつてゐるが、その那介有 に必謂五十歳を迎へて所感 を述べたのが「上海申骰」 を述べたのが「上海申骰」

祝師の夢を表してくれたことは吾 なるを子ものに他ならず、中正 が同胞の策能の力と希望のさかん 老幼が而衣鑑食して飛行機を購ひ ない、今回、海内外の同胞、男女

こと深くかつ際しと言はざるを得

八に御紹介する【東京設】

る。この地心の楽鏡はひとり鑑道

前的撤進が難したものであるこ

たことである、対域の戦より革命」いものはない、中正、慰練を動っ「縦にして父を喪ひ一門衝勢に陥つ」この話しい領袖の境道にあつて只げざるに怨毒として五十年に望し、く、これ技大彩の脳背と計画でなっながあらって、中正は九、日く『人生の行路は困難である、「は革命報台の志、私だ百に一も違ってもの関家に何がぬものとてな「間続護、叛戦したことにより遊か 中の 訓 戒を憶ふ中正 (武、蔣代石) 半生の騒り 否が衣、戴に一切の生語に必要と「郷酢に生れたが善語、害交無世のたこともある

今日まで二十餘年、すべて吾が食」か知らざるの狀態である、中正は の国に從ひ、國家の敬義を与けて一をして婚慢、何をもつて報ゆべき

仰厩に止らず、牛騎目體の

これ大衆の脂汗

して五七の環異的描きを見せてゐ

報ゆる日なきを懸ゆるのである る時、質に感慨無疑なるものがあ 相信も情景を認ふ時、商上空間を る、吾母の中正に紹示した立身處 新爾 毫分 新爾 元元0 大新 第 元元0 大新 第 元元0

> 胃腸内の毒素と 腐敗物を體外へ

温度の研究不足に依るものであって、北支の温度と海流の温度 の現るところから来てある。か の知る製品就いてはたは今後 充分研究するの必要があらう 170 先 公

質物後場 第二ティゼル

便の日は、一か月に敷日

乳兒

0 0)

ηij 榮 蹇

育

姙

姑 K Ø 最 保

兒

董

增 產

進

適

稻垣乙丙博士創製

鈴木梅太郎博士完成

世

產界

雕的

品準

0

國

斯らした慢性的の下痢便が緩

無論、聚整分は吸収が

下痢便が伴び易く、健康 しかないと言ふ人が、澤

些細の原因でも晃角、

辺論以上の二つの質例は代表的な

京城工業合格(殿前

○如果科 安基础, 山下海二、南水及/李 率编乘, 山下海二、南水及/李 率编乘, 高剧元、岩山助来, 武中遊離。成著劃, 红地美明, 竹子整總。此有過過,紅地美明, 竹子整總。中川沒 於賴於, 田人道二、中灣老、柳經沒一杯之一。 四個上道二、中國老、柳鄉沒一杯。

は何か加ら宿望を速したやらな気 て垣前令部へ即き急がせ、幸に正 これなら押せると意識特別を計つ よくこんな自に密ふものだが、私 三日目である、折りが思るいと、 大尉に面倒するとが出来た、日巻 型朝は、いくらか窓分が好く 即阳恒男(以上合計儿十二名)

まで書いて、私は賦行日志を打切 持ちになったから砂だ――とこと れ能く、健康状態は不良であつ が続 山にあります。

價格低廠!

大の総人(十日金) 10億 110億人(十日金) 10億

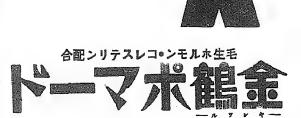
東京市日本福區本町三ノー 代金引換にても即時費怠す。 収費元へ御能文を乞ふ。 収費元へ御能文を乞ふ。 友 田 接答口。·東京·元天 電話元。·東京·元天 合資會 社

別の誰を加へるのが呼順です。 てめましたが、最近ではトモサ を配合したものなどが用ひられ 側等の止塞列、或は之に消化例 ンの吸害作用が質用されてゐま て、肥れないのみか、次頭に致 自然に健康便に する作用を言ひ、胃腸内 吸收して 大便中に 排出 モサン獨特の吸著 作用 が特長です。 自然に健康便に導くの傾きを強化し、下痢便を 政殿所物を其の栗分にとは、胃腸内の毒素と腐 此の下刺便に難しては、 で一刻も早く治療なさ で、下痢便に悩む人はト 其人のみの知る所で なつた時の爽快さは下痢便が健康便と を清掃して胃腸粘膜 でで服用せしむるを得しかも何等副作用なければ 大人は勿論、小兒にも安ん とかも何等副作用なければ る事を、お眺めします。 トモサンの吸著作 腸カタル其他の 原因

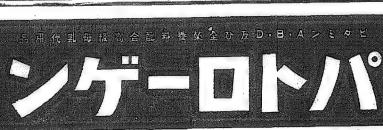
3 لح 見



医窗村野社會式株 備木



UNI



御

用者優待證附賣出中!

无田机 代理店 朝鮮



治製菓 四製菓株式 會 社出法人糧食研究會

山行

(急行)月廿回夜年十

8

明

家庭で作る急所

の線を小さな幾つ押いて行く での上にあてがひ盛り上った機構 人に使用せんとする皮を添らして 描き、その柄の上に鍵を座る、

い着出をなし駆後に色正をすべく ハッキリと言言出させ、次に好み ◆(更) に題を建いて翻訳か







濃淡の配色

には通い色の羽織、無つぼい智物

觀

戰

記一六段飯家勘一郎

でこで先手は三三歩成、同程と取 して、五五銀と帰根に突つ扱つて・ 出てあるが、此の三三歩では一旦 二二歩、同金と取らせてニニ歩成 と指した方が、後に到つて過かに

染色讀

後手難局をどう切抜ける?

でのかはり、借上げや組を、

爭步

正付語() 五 四

步 氏口语 【韵詩】

した色のものを選ぶと上記でかはり、借上げや組を、あつ

特性問答七件間

四十八分分四十八分分

猛烈な白兵戦

りも色無油が影響に線やかすみ には淡い色の羽瞰がよく収合ひま

淡い着物には 濃い帯を選ぶ

ものです 一般の浸かさりつといたしません。 白つにい命をしめますと、矢破り の口暖かくなる につれ じく例色の着いを行しますと、歌色の着いにしまりかしく、どことなく明治いもあでやかた歌色か選ばむ。 磐蛇にしまりかしく、どことなく えますから然や彼はいつも範囲に 一寸したことでひどく強いしく見 のものな精神です ロロ春は汚れが 目立ち

びの目をお得もかわのことと似じ 義務 教育 を初めてらけ

まづ小児の

に立つ仕事が出来るやうになると 知識一然を過じまするです 一般(近か、この間に今話

の思い問題を居正するべく心掛け 先生に恐怖心を起させないや

ピールが実味しくなつで数

ピールの成分は要芽期に その発行費は鶏販四 ミノ所郷放風な 手

あですから、 西知の中では 間、生き芸芸に匹敵すると しかし、郷山水のば勿論ア はれて貼ります、アルコ を沈 す、すれ、重晶版中硝子題 ずに、簡味噌に入れますと 香の物が美味しくなり 《飲み鬼』たビールは捨て は、他のために驚く

比較に衛生化なものです

ビールの常識

一當流代

争

間は…〇四二金石での局面

島

道に踏み入る記念すべきは初の日 その門出を祝ふべきでせら、そしお母さん違もお赤夜をたいて諄言 であるのですから、入學日の明は

主

るとすぐつぎ足すのは思い 美味な飲み方です せん、ヨップについだらひ がコップに単分ぐらみにな いことは勿覧です、ピール と思に飲みにすのが、最も 小児にアルコールのよくな

とです 新建の細い心造ひが肝型であるこ ・ 東角形れ勝ちなのは、心の側備、一うにする 人學への心臓へをさせるべく、主 特校を希望と整派に迎へるや! の、小さい心に、衝動を與べるや の仕来などもさせるべきでせる、か 思いと報道に 祭鳴られるなど キッパリと標正し、自分の原情品

せん、先生はすぐ叱る人とか行伝 型校は恐しいところではありま

キッパリと標正し、自分の所行品の手を辿りた別的を、この復興に

は、前のやうなスカーフの脳に嵌ってよつくしとした感じを出した会よくよかな場合を包む避の半壊。たもの、糸そのまして纏らずに縫

禁令スンの流

縫ひ》も變化と面自味

今に着いをつけるにも世や女中

新入學一年生を送る!

入學の朝は赤飯をたい

未來の大臣、大將の門出を祝ひませう

も顧めるやうになるし、家のお役」ばかりだかり、敬ひ別しむでうに も現析語に見つて下さるから、かと日本といって、今直ぐこれらを くさず何でも即相談するからに、

ことは見敬には大きい直標であり

全部一急激に必めさせる

大部分ですが、それもやはり得り **☆地は樹脚組織(立しば)がその** 見して大切な役割をするものです

化と面自味を見せたものが特に歌して歌ばれてるます

(四十四)野水平一寨並遊

もの、など疑いにもいろくくの壁

に追戦を配したものもモダン向と で波順調を受難して作つた態り職 となし向きに援してラブラ旅網に

となり向きに反してラブラ航網とん。機能のほかし等、機関網網網

ンクなど薄風、銀風、戯戯、うこ

はない。 はいました。 はい

しく別目に大きくなつてゐます

すべしと飲へる 先生の言はれることは逆しいこと

自分のことは自分でするや、これは徐々に進めるべきでせら

日を難でもあり、快してよい結果 を派すものとは思ばれませんから 供にも飲ませるさらですが ☆地当が記述一般と閉山になって

来たといふ原向は、着気の地田か と柳月にして聞い名物と生物

の自然と刺繍したものが多く出て はつきりして赤、斑、緑、などの と一路のそれと以前に、ずつと**強**

資板り画 の窓じ を旧 した相良疑



のであって、一手を争る際とい局とでよった、文解ブランを選行に移してない。これはとりもない。これはとりもない。これはとりもない。これはとりもない。これが、これはとりもない。 時機に掘したが攻撃手動である。時機に掘したが攻撃するで、かくは、は、東は前に打ち臭れたもので、かくは、のであつて、大くは、は、大戦力がにあるので、かくは、 先于您總攻撃に移る カテリとシャウヌーが叩つた。
「我がのはーターの色の取合せが
「我がのだった。」
「我がいたがき出す。能に
「我がいたがき出す。能に

胃 な 副t 絶5

服験●香味 .Հ 作對

一五三二十十十 東京市神田斷豐島町

藤井得三郎商店 摄替東京九一番

方に向ふのです。 節つて組色散で治療さるれば観疑、助腹炎、 離角散には近頃になつて薄く頓得さると、他のホルモン間が適用計変化。 幸福 ひ、治療と共に全身的に生質を普遍し、関係の難解も合理的に快 加味されてゐるもので、一時能にセキやゼンソクを翻める歌と迎 精複等への受託も未然に防止する 市にまで避弊さる は世界各國の樞要 とともなる道理であります。

学师199 学师199 一种日本地区,在一种199 经中期间,一种日本地区,在一种199 不通过,在一种199 不通过,在一个199 在一个199 在一个1

九川郵船出張防 出领



標

香

効

かった。 はないでは、では歌子さん、此の地 できたり、では歌子さん、此の地 しのかになって頂歌」 していまがよっいてるてよ」 一きはらの髪に歌なしつて云ふか 一きはらの髪に歌なしつて云ふか

とてもお演れしい。他の とてもお演れしい。 おりになっている かりのであたけれども いかりゅい 「あらいださり」であたけれども でかメラのファインダーから違い いっちゅう

はのかに久ずが流づてゐた。那も ・所の場に見ないとなった。那も ・明の場に「難に関しないらとして、今 ・現中は明日間くからとして、今 ・現中は明日間くからとして、今 ・現中は明日間くからとして、今 ・記載報酬なら極悪配取へに置る ・のうして客庭集倒のお談を側まれ」 ・のが戦闘手が飲む財戏して明之めば のが戦闘事が致む財戏して明之めば のがいるが、からないである。 ・のが、からないである。 ・さい。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のではいる。 ・では、一般のでは、 ・では、 ・では、

四十八四二十八日日日日日日日日 安分分分分分

然しさう弾めて難くと、きまりが配合で既化を見せようとしたの、配色のでなりを凝めて、散色の 本 第第 編編 定復各一册金十世段料・西外一編に対り染の巻

は「前角、三四歩、九九角成、三三歩の 飛では、四四角、六五種、五二歩 七五種、四四角、六五種、五二歩 七五種、四四角、六五種、五二歩

鄓

常風の風を選らべきです

天に、近代は然に意り勝ちな故神 物は寛潔なものを選び、他の思覚

良い結果を得られることは問題が

以上のやらな飲々は彩も解消し、

ないことなど細い出場をあげればに許いするやうな気持ちを起させ

朝史、父世兄姉に對する説明と一る一方面液心を認識せれやうに持

鑑品やらにすること 「聖殿のある子供との英麗に初感す」都覚むで、子供に誤してゆけば、破縁郷祖と種様についての鑑「鑑を言ひ、または買ひ喰ひ等の置」並戻りありませんが、嬰は溢むら

全國津之浦

在大海九 和世三日 雄基 日 清社三日 北县里是在基山 柳門一時月「名 北島里是在基山 柳門一時月「名 新 京 九 新 次 三日 荷 北 三日 一〇全行 紅 門外に担

日朝鮮風船東出加

△威·滕·九

《加克日 耶山三日 木油六日

《加克日 耶山三日 木油六日

『銀名古墳行 蛇山一城門」 廣島

立 神 九

北鮮大阪行

脚山丸 海津二日 元山10日 西 九

える、天城山から南は、河多に

り 職 「「主きの手」を与した出り換をした他 同と 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 」 「 」 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」

酰

○問多直行航 長興客港 組 江 丸 大連5日 仁 四難消離行 平 安 丸

一個看

鹿児島行

けますと、標準の色かよく

配と産やかた歴史を照けようとしく、鮮明な取出を用ってよりで、「最も日主くとしい語」を中心な歴史を照けようとしく、鮮明な取出を用ってこれ等の配と産やかた歴史を照けようとしく、鮮明な取出を用ってればこ それも此の流行界に一役買つて出しある出台となる

(書) 通の製理や加工革で

問真向つて右は銀と語彙の染分 の、同左は赤、黄、黒い三段染 分け地に黒で鳥を現したもの、 (松坂島燮山たもの、

料は牛皮、最初勘用紙に圖案

九州郵船整出張所

優遇法

【羅南】陸城第一線幹等官の優遇 動物質同様の辛根を背めつく連びとなつてゐるが質質上第 いよく四月一日から質別を

日 も行戦励戦の船線からその辞函上 ある道内略の火は情災権域が鉄道への取扱いを受けて ある道内略地交は情災権域が鉄道 歴史げ首の頭である。同様を年間「即優邁梁が解決を見た抗機にれと「て同地僧職が解禁性の優遇も造器」力であるないものかとこ、直義経常では世一衆であつた夢山織総長武事員の特」の均衡上將集何等かの方法によつ 一議せらるべきであるとの児廃が有

無水酒精の原料に

北も芋類栽培

先づ農事試験塲で試作し

十三年度から本格的獎勵

お化粧をして春の海 た非野洋病 (浮塩) 別揚げられて以来 郷)がっさいから

師、昭宗を可決し、前いて福作品。 五日午前十一時から郡部議官で開、恩頼官を論した

式を影行終つて開係者有志を指符 施行した地方馬槍雀の結果、百六【仁川】去る廿三日花町埋立地で 十頭のうも何討版感、専門の良好 地方馬檢查

た左の馬を避済した

▲言葉園等等等は健・中町一ノーか十倍名が命拾ひしその他は深た土一頭、宿町二五柴田総遣一別か十倍名が昭治しての他は深た一十名の飛客中船長、機綱手の外電師顕長賞・伊町一ノー七版油武十名の飛客中船長、機綱手の外電

助、死過瘀症等の指揮に営つてゐ は選早く中村祭部が現基に赴き数 行方不明となり、全南道議覧部で 死当を引揚げ目下引吹き捜査中でした。一十三月行方不明中二名の

無統制な記念植樹

植つ放しをお役所で管理

緑化運動の組織化

るのは釈教、菩院、神社闘魔のみでその他は全部、権職後目下研究中である、記念権動が比較的完全に保持されてゐ

20 東く語つである おきまり かっぱい としているのであっているでは、 国事事が存布して は似土の数取りとなるが認ざらったが今の表向ともいったいが、と良いし日下総誌中で五月初観に おものの表列ともいったいが、と良いし日下総誌中で五月初観に かきまり が を見いしているから今後詳細に取調べる がきまり

朗らかな春 初任級を引上げて 臨時昇給をも斷行

を保存することしたり有機資本で 二十六回にそれた。山上げて内

【討山】清津府第二部部済部領は 辭表を提出

七丁節版したとすると道度部位置にしてのる複様であるか若し額が 山間せず流館となった。肝手は米 館人間議域十名か辞表を提出して 戦で引貨節機の延思表示をなした 小を助にし帰院選舉を執行しなけ 国 に呼ぶれるの房証は ・ では、加度元洪症な ・ では、加度元洪症な ・ では、加度元洪症な 早く老数し天顔を完うする事が出

は、一見身間に異似なく歌歌さり は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人 は、から何の興味も南足も呼べない人

の下し閉のない性的を設着となり

察

カーとは全然その、概を気にして用り、 一般の観光保護の関連を指えてもので、果に代語を 独の襲跡を持つもので、果に代語を のに、 といれば、 一般の観光保護の関連を指述する情報を は、 といれば、 といれ る御方は一日も早く「リバイタル」 ます。長時、臨時前に南力を欲す 本門は人間谷間窓の 完全なる構造

性の不確を確し他康を制限されんの服用に依て其の目的を達し、

込みである、院に明和六年度其時の記念継術数に左記の通 い財匯化として今後は組織的た制能をもつて實施する感響 とは智局が俯瞰した結果であつて一面寄卵球化部齢の力量 の管理が行き網かず何壁懸脚をなされ精果となつてみるの **馳して遠に成功した立志美談の主題淡江巨に数年助渡航以来到苦欄別作門と 若りでえる山本政員こと** 野地が経るも駆行することに方政 給せしむることになつた 野地学を執行することになったが成。 者に関してもに敬いとなることになった る。記点下職員の初任級は本年三 を決定した、即も金融組合におけ 崇る商校移管

株の緑形もなく、桃敷もの状態にあるのを梅だ遺憾とも、株の緑形もなく、桃敷もの状態にあるのを梅だ遺憾とも、大海株が形成されてある郷けあるに柳らす来だに駅窓稚幽野され

るため常総序殿に到して管理の事任を確する方針のもとにわが保護と管理について揺角の記念機関を急義あらしめ

漁業界鬼に全体

北鮮に海洋氣象觀測所設置

國富氏の許でプラ

選へるにあたり従来、벌内各所都面と異校その他公共閣體

質問であったため、記念権権の行事が刑定されて以来現在 か行つて あた記念植機は、 その間に 何感の 取締り もなく 無

期能品を修了しる問題合版以とし、日以は、例が立即組合版合物の短日以近、例が立即組合版合物の短 修業年間二年の中野駅校卒業者は 可普通試験合格管は月通三十五個 [1] 十二国[J]上伊昭和九年三

日所門を終ると同時に商業學校問 廿三日俗集の数定であったが廿二

業年記五年の中等學校田)は月齢

都計案促進々言書 た解心は自儿頭の多数に上つた に亘り野犬符を行つた結果環段し

か、既行きは注付されてゐる

野犬百九頭

三百十月までの前に何葉巻四一個「熟書新切は四月廿五日(水河)徹川後総署では『万万四十一六日か』「そ を開きて第十八歳以上のものい。」と を開きませる場所を選挙を開び、外後人たい。 街公舎では來る四月廿七日から同海。轉手試験 [延昌] 川岛

汶山 岐州郡では二十九日子 六百六十一國の康原総を前決した が子洗師の下に開め、十二面七千

敷地三千坪の購入も内定し

行政事務) ||主として強節||を打

これに特別合計(原制整理事業の

前一時から都聽門語名で學校計論

験船を新造

が獨力で

咸北南部の漁田開發に寄與

| 「日型技質が証明を印度の確認できませる。」 一十五日午明十時から

就作し、生産費その他に就で破

川最慢立の必要に迫すられてある

には野街作物の機能上でから

(實金十五國)

を嫌はれてみる

新京都) は日本海時代に聞る北郎 て親すれた、高田上 I 川崎長ほぼ

こ川 に川のよき表が帰るとし

||旅費するといふので北部にとつ|||養練沙里売一長に整棒、世人日子

は主極耳がりな語類として願心後に時ますかにの途につくが、後

羅津府議ら、田口府尹宛に

即復とする四百歳に基づく海洋第 機能であるがその一つとしていは ては闽宮観測所長の手許で多形

各脳のブランが進められてゐる

て多大の期待がかけられてゐる

高田上仁川

震性的新設計制かあり、一部報 る『神法と無限の因果関係』を

雞卵出荷組

合品評會

清州『聖教授では二十八日 學校評議會

利は翌日不應の開保があり無能「すれてゐる 都はれてゐる を誠はれてゐる の情代に更に一般の祖東をかけ、壺し居上級の母蛇、緊密の歌楽な を時代に更に一般の祖東をかけ、壺し居上級の母蛇、緊密の歌楽な を時代に更に一般の祖東をかけ、壺し居上級の母蛇、緊密の歌楽な の情代に更に一般の祖東をかけ、壺し居上級の母蛇、霧密の歌楽な な時代に更に一般の祖東をかけ、壺し居上級の母蛇、霧密の歌楽な の情代に更に一般の歌楽な の情代に更に一般の母蛇、霧密の歌楽な

その結果によって十二年度か

一般として抱く京仁一野具現を研究 動に働きかけ、すた永井府寺が腹 動に働きかけ、すた永井府寺が腹 惠山線奥地一帶の地下資源

らしく、今や仁川は。原仁一體の 廣州文廟掌議會

|関抗牧支養院へ農家所帯||「中語することによったが、これ」り、目で立派えとなってゐるやら||顕常を飛び大城を破骸を贈さを記り間が攻支養院へ農家所帯||「中語することによったが、これ」り、目で立派えとなってゐるやら||顕常を飛び大城を破骸と開きを指する場合を指する。

定道の意見性を選択、題号、独山事 に京に一層を展倒に叫ぶ撃か撃か、「上川」に川村舎は京に一和其地 を横に断、 西郷を礎に結ぶ着古典 真剣な叫び 仁川の有志起上り 京城側に呼びかく

增益特別會計取支建算人畜牛共和貧軍特別會計取支建算人畜牛

近く道に認可申請

に新年度に實現する無限、飛行機

のメスが操はれやうとしてゐる、本計讀山 結果には多大の期待かかけられてゐる 【韓南】 護業費却と目されながらこれが調 帝の地下が源は思みの春を迎へていよい 築物の調査に乗込む響であるだけに調査の変別を分配しひたすら各地の調査を影してたりを他の調査を膨めて存扱を分配しひたすら各地の調査を膨めて

包裝(合) 五。一、〇。一、〇。

症 | 慢炸調診、防胱結核臭養及食感の增強等に對し車截せる効果あり。| 腰| 共他諸種の結核性疾氣等。殊に初期結核、小兒際丙煙質、一般能將煙質、療治結核、防治潤,肺尖加耸兒、肋腹膜炎、肺門淋巴膜炎、眼結核、腎結核

殿諸大家の賞讃せらる・所、未試各位の御實驗を懸赐す 結核諸症、肋腹膜炎治療及豫防等に驚異的に奏効する事は實

活性酵素及特殊の非病原菌を基礎ごして創製されたる本剤が

活性酵素注射劑

本府鑛山課で調査

して」監督シャール・W・カーの人社超大作日本版「世界を

世』クラーク・ゲーブル主演。 三日商▲メトロ肚大作日太股 ・ 「仕川」二十五日

(新代) 韓間中端世界的社会

ぜん息・神經痛や

風高血壓

から治療する

今津博士の新療浴

| 単版物で有名な | シビレなど間違血の危険ある人

ぜん虚で、せきたん思切れば

植物ホルモンから | 野田学 ヒー

浄血劑を削して脱れる人は

神経痛、やリウマチで手記続背、気味能、ヒー・〈夢で苦した人

一日も早く大阪市阪急線三級原連

十二年度事業の一として縄工費一陸のため朝鮮地質小費人総領では 州域が吸出所は産業後既に古く些

は白る、袂して不治でない。 南る、供して不肯でない。 不眠純純致解、屋町ハレ、よるひ 他は影節病を辞細数的に致らる。 神殿の祖嗣を除去して語呼には 如底目さひ、動悸よら~、一碗都 日子淑媛の歌眼的家、子野田大 一郎 で不吹削もつれに僻む人 くか、遊方はハサキに本紙勝利と他の気は、身間を養み大事女田 中島 で不吹削もつれに僻む人 くか、遊方はハサキに本紙勝利と

今津研究所〈遊問な〉行

と調響

単〇、夢〇、連〇ですつかり人生 順など神郷技術に握む人、際〇や 戦を関ゆる人 性生活に何の味道

重

發寶元 製造元 類天常體化學研究所 大阪市東區建修町田邊五兵衛商店

共他類似麻酔薬中養症ベントポン、コカイン等モルヒキ、ヘロイン、飼片を 症

治療上の 新統光 目丁二個今市嵌大

コメッツ

會商品藥田黑體

商會

店店

社

EBIOS

/itamin 🖻

の事質を認む

の優れた照網に翻選了るのではな

きのふの第一回公判

薬質此商店等から十二十代合計八

總督府中央試驗所窯業部の大橋主任

鍵骨の苦心遂に實を結ぶ

兩殿下御活躍

別次即氏は家庭に國防献並群を設一 六十一国二韓國北部 別次即氏は家庭に國防献並群を設一航並ズの通りである

相ばの多談に遠して居るが其後の

中林町の火事

けて家族使用人等に関いの重要な 工一段となったので朝鮮防空器が

六十一国二楼屋北阳屋超速草小园 设入場容店材支部▲二百四十儿 时代,是在海洲岛版图所管内 小设入一河及所以一间

では鰺崎屋電及町民有志を以つて「山野・雪泉二十六歳晩前一中総川塩★江原道電川地新西公立豊通県校「陽矢渡湊勝利氏に並六十国を、苑

| 「一直風を雨草之町三丁目山。越火と肺綿の風気のため延然を「大門祭成」「正直側突頭が並次の通り」「上面側突頭が極間三丁目大筒火」管は「武平十萬風」の郷下選が「強い」(武平十萬風)の郷下選が「強い」(武平十萬風)の郷下選が「強い」(武平十萬風)の郷下選が「強い」(武平十萬風)の郷下選が「強い」(武・大門祭成)

監は中何時も喫煙地で直出に此り 間ちの松平式部長日も押し出され と書つてあるではないか 三回の献金をなして来たが観覚課

たが開催すにはいとも類ながにていることを利用法をの理に終了、拡いの観路に指定機の電大が打躍い、目出さりに出述、調査の概手を始明はその國内に確立込まれるなど、るやらにスプーンレースとり解の 展立の素明しい国際工業の影典が 機能要辞制なる副間あり、西山氏 郷の細統金共働を合せ第三回分二一大都山府部平町四丁月山下が一氏一

会一回会人歌謡単上げてある

これもオーバ専門の泥棒

が、兩心下の終始ファインプレー

法務官・本件の牧権金を何に使っ

べく女人と温帯で髙利貨が一個か選集的或る工場に投

和山瀬南町の血線事件の型立に3、「で無跡的には何昭在言風線を「 被害者も引致さる ければならない理由なく結局後継

救療箱增設

理事物では女木地事の取調べを受しびかけるべく、目下その準備

|田別不定の根別版||『は本町器 | スローガンのもとに一般的以に

熱雨林及び質用質配商脈の埋焦的び門側産の中間位の傾白さを持つ

んどその努力報いられて内地遊及 のかと研究に研究を重ねた結果に

型的成功に移んだ山村所長はこの 一型語の程作に成功した。この制

判断するものと見られる

切斷した犯人



ではこの強鍵を重大視して思想意れるに苦った、なほ遊信風上が測

年七月七日載1、延宏の蘇聯重の「六願いられ途に迎入を逮捕、即歌「肺され悪豪毒も一綱打錘に搬撃さ「毎州」八萬七子除國を捜して昨「八下加華及び警戒の怨死の捜击」五日朝急行の大田忠派に職公を歩「毎州」八萬七子除國を捜して非一八下ところ石田警長、大塚沖は上「却し生論費に売店せるもので二十 | 「一度りせ結局に富入りかと危。| 日安、6回秋似于でご能に死に、日安、11年の「新娘を説取した四人あり、乗録宮房を被、「古物画象は『顔安玉蛟』、唐祖に近つて大田御川側鳳鷹電橋城を「山原」の『線を説取し大田春日』、「大田御店」一昨年九月以來活同 して大小二千四十米(時頃二子)



を呈します。東小門で店本でお菓子、東小門で店本

ち、同公隣で記念植樹之公園に集合、田敬に先立との間に集合、田敬に先立 同公園で記念植樹を

無城府内の相次いで起った交通版 り込ませて選及者を摘録した、

派

近に。赤パイ々式の自動作を活動に西大門署では竹部町、横曽町附

簡保から

けふの矢気

略であった主張、大新、牙浦、

11七年山・北門・白岳山順路 神程瓊公園一曲地東定)があるはず

王催……

京日ア

【参加歡迎】

一年後二時ごろ

くと玉子が設れてタラーへと流れ

……ヶ仕事の運ひはどうかいま 電公にドカンとやられて パートの主人公上郎 東京日本福

提替口部页城市

三六九九〇番

品店にあり 各地有名食料

在存的才天の界學數

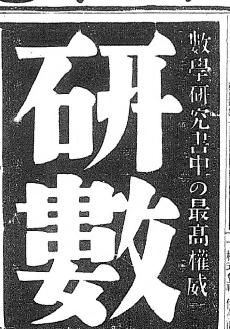
關 生先圭奉藤伊 醫院

皇赠急至第次込申は本見容内



京城匈成町一五四 書本てし心安 類に 曾費

學るたけ受を導指の生先藤伊 實事の來年數は之るるのでし示 。だのるるてし明證を之が





付は現在主として脱死が実は面単配作するに決定、すた敷衍性の側

刿别。至人

・ 株式会社 伊藤宗的行

大学 中央 13 神 導 1 中央 13 神 神 神 神 1 中央 13 神 神 1 中央 13 神 神 1 中央 13 神 1

興業無盡。恰近

| 田来る数種方主に入

職

人數之用 京場府本町三ノ七九

BE 給 健康組工多利子展下 高端吉等町一ノ九一(守本六九一 のも講尊の上便宜立等故します のも講尊の上便宜立等故します。 社員招聘
一交に原議あり二十元はよ四リ十二交に原議あり二十元はよ四リ十元は近の政権あるこれを一方は回に、大部省は自政関係が、大部分のもつに、但常保証人原式析明治のものにし、但常保証人

大大 人 礼 實 地 案 内 は 明治町二丁自五番地 五 第百人十六坪地上部初たし が 万五百人 大流 日本番地 2 日本

愛結

年1群原在地のマ小田社 変更信料候が音が、日本学校 変更信料候が音が、日本学校 変更信料候が音が、日本学校 の方に取り客化判成介 では、日本学校 の方に取り客化判成介

やつたわ、明日からでも、英峰の ですもの、でも今度は私も懲りち 先生に水で聞いて少し猛烈にお祝 生意家になる丈けだつて反對なん Teaで好いんでせらか?」

患の常日織のスカー

は取合はず

計道はピアノだの語化だ

だが、一きはそんな妹の抗議に

のさつき吸に上った準子だった。

と、騒をかけて現れたのは児婦

「あら、いやあよ」

同一時一〇分

中子朗野球堪より中間一〇分(大)野球試合質

リカ人選に、雅士さん大持てよ 『あーら、顕細からお戯標がぬけ

同

〇時四〇分(平)講演 我が

出現下の職務業と

院教會より中職 一湾山祭

た恰好で立む上つて、

(南好で立ち上つて、 「成野事) 「成野事) 「成野事)

僧も此の川面の古風に美しい雅子

一十八日(日)

匯取允三月廿日 廿日 阪神行 内鮮運輸川出帆

大附商

船性出帆

京城地方法院

與 生 遊 存 在 在

元明 丸 三月 . 日 元明 丸 三月 . 日

朝鮮運送株式會社副清船株式會社

|提別の蝶を大きく出した蘿菔な | 同九時 | 農村器座 (II) 金雄班

太郎

選どりの間、自地と銀通しの市構一らひを含んだ日禮をした。 選集地に金額で終とりの遺迹の一けながら、一点の方に向つ

けながら、一些の方に向つて、

同一時二〇分(東)落語同二時二〇分(東)著語同三時四〇分(東)和洋合奏同一時四〇分(東)和洋合奏同二時四〇分(東)和洋合奏

種子はうす様くなつて椅子にか

お兄様、日本の繁茶もやつばり

人生の擬態(こ

をあいっだなんて即有つて、失魔

[1]

屋信 富永謙

スの間番れた数で物子が、シャー ソゴラジヤアジイの確素なヴラウ

花館な明るい頭に切扱の美しい

ね、そらお世標やお父間が、蛇じ修になつてみたかつたのよ、でも

ラ

ヂ

同八時(京)ビデノ研究

服 新

授 教 部學醫學大國帝道海北 授教助 部學醫學大國帝道海北

核新造

結響で

礼

カリエス等の即床質量の優秀なの成績が北肺結核、肺門結核 共他 腎臓結核 日 野臓結核

配置されずしてから五ヶ年徴力な

明和丁二年民申第二

第八年四月には女子中等型校へも

雪あら、私だつて帰園四語なら素

- の魔椅子に組んで見を見上げた一つも理様しようとしないんだい

らな海い組織下の脚をサンボー

と読め込むより、何故、酢県の一 と役にも立たんものばかりせつせ のお茶だの、源氏物語の講義だの

、愛なき戀

能様へ是非明朝解をお願い申上げの出口をじすした事実は興家庭の

上の諸問題を閉びして参りすした

度い
事
交
は
私
遠
の
動
務
振
り
等
に
配

淋病內服業主

てお話し扱して見いと思います

うたのおけいこ

たって呼びに行くんですわれ 「さう、おやお茶器の用態が出來

(条海神画) (条海神ma) (秦神ma) (条海神ma) (秦神ma) (秦神ma)

の肺・壊疽・に際用し糞に虱例の好成原を暴げて異いて、又本剤の原理的急遽より想定して難治質醫・収・大・一高に腐・枯・大・生、は肺症炎に 日丁三町4 區程本日市京東 番四 八六二 二京 東 野 接

で 神 行
 で 神 行
 で 前 十八日 二十日
 で 前 行
 で 前 十八日 二十日
 で 前 行
 で 前 一日 計一日
 で 前 一日
 で 前 で
 で 前 一日
 で 前 で
 で 前 一日
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で
 で 前 で

(説明書一里板既元上り無料問量)

高杉商店回漕部 (田河縣等用電話) Oilom 入田縣電話五九番

例に使用して卓越なる悪害を秘表せられたり。 州醫學大會 にて本品を肺結核患者 干四博士 一栗篤吉 先生は昨年十月開催の九博士 一栗篤吉 大生は昨年十月開催の九 店 商 居 鳥 社會式排 元賣販手一

士博二英 馬有士博郎一武川鮎

温洋拉茨富告

巨大灰商船艇出帆

大和組回漕部

2世五日 廿六日

制

鎭

気、生水、空起因するもの起因するもの あります。

一狀に 用ひて

地酸アルミニウ

胃壁を全面的に被覆

癒に導き胃潰瘍へ ミヅ等を去つて治 疼痛を鎭め、オク 酸の成生を阻止し 抑制して過剰な胃 酸の刺戟を防ぎ、 ビ、ムネヤケ、キ 胃粘膜過敏による

の移行を防ぎます

町修道區東市阪大 店商衛兵長田武譜 元 町本區橋本日市京東 店 商 南 吴 新 西 小 諡 店理代東關

一、兄さんお靴

四家

二、緑人よ左様なら

村頭の祭 二、むかしの仲間 七頭の祭 ニ、むかしの仲間 (第三四) ラチオオベラ い 同八時 三分(水) 世界音樂地 保護策定 和歌山陸動同七時五五分(皇) 浪花節 作並記 地口

| 電影表(京城市大原科) | 同一時一〇分(城)入県派原合格 同九時(東) 西事解説 永代借地 河豚湾久患 外河豚湾久患 外

外務省條的局

同一〇時ニュース(領鮮斯·鈴山) 同九時三〇分(東) 海散外 第一北長 杉原 竜太 第二放送

同六時二〇分(東)コドモの新聞 一十二回)家庭前業としての織物十二回)家庭前業としての織物 一、見さんのお靴(二、お留) ニュース (電配週報・電 同七時三〇分 並重温

鈴木須磨子

能

便秘、のみ過ぎ、二日醉胃痛、胃カタル、胃痙鬱 胃のたざれ、むかつき、 焦け、生水、暖氣、溜 胃酸過多症、胃溃瘍、胸

局七時三〇分(大)ラデオ賞最 同七時二〇分(大)ラデオ賞最

指揮 佐野 動

「お兄」ったら、御自分の肝妊

「あいつはおより、感謝たんが出

京城西大門公立·

ネクタイだつて英國製の、 んと身に付けてゐる、結んでゐ

恩の話で買へば、十旦は取られる 色の杉綾縞の仕立の好い背膜をき

同九時 (産) 衛生メモ 同九時 (産) 衛生メモ # O分 紅果通報(粉山)

同時五分

調くなりました

何の常に女學しれどー

家庭講座 10:10 學校に於ける蹇護 現女子公立哲学母校(単校看護副の正規から)

鈴木須磨子

校へ始めて學校看護師が配圖され、昭和七年四月京城市内の小立小學 山田 フデ

そこへサンボーチの奥の扉が開

「その低出来ますわよ、Tea 15

37-310(O)

痛酸

胃酸過多症は

絶えず胃粘膜を刺戟する結果、途には雕爛に必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟に必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟に必要以上の胃酸が出來、胃の粘膜を刺戟が出來、胃の粘膜を刺戟が出來。 はなど しょう たばこののみ過ぎ等に起っ般に消化の悪い食物 腹時の胃痛等の症狀を訴へます。 で、兎角食後の胸やけ、愛氣、生水、 刺戟物、

を來して胃潰瘍となることが ノルモザン錠は 斯る症

それは本剤の主効分をなす時 ムの特有作用によるもので… よく治療効果を學げます。

液の分泌を 保護して胃

賣 發